

むつ市公共施設等総合管理計画

個別施設計画（第一期後期実施計画）

個別票編

令和3年3月 策定

目 次

個別施設計画（個別票編）

類型	施設 No.
1 学校施設 【学校施設の長寿命化計画による】	
2 その他教育系施設	23
3 公営住宅 【公営住宅等長寿命化計画による】	
4 スポーツ施設	48
5 レクリエーション施設・観光施設	57
6 産業系施設	90
7 市民文化系施設	111
8 社会教育系施設	151
9 子育て支援施設	159
10 保健・福祉施設	160
11 行政系施設	169
12 その他行政系施設	173
13 消防施設	189
14 供給処理施設	233
15 公園（都市公園を除く）	238
16 その他施設	246

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	南通地区学校給食共同調理場	延 床 面 積	244.00	m ²
所 在 地	むつ市大字奥内字江豚沢1番地2	建 設 年	1994年（平成6年）	
複 合 施 設 名	近川中学校	耐 用 年 数	41年	
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	鉄筋コンクリート造・1階	

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	継続活用施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	（仮称）防災食育センターへ集約予定
	社会的必要性への適合	適合
	災 害 の 危 険 性	－
	緊急避難場所の指定	－
	避 難 所 の 指 定	－
	投 票 所 の 指 定	－
	交 通 の 利 便 性	－
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	－
外部からの需要	－	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ修繕が必要な箇所はない。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	行政サービスの継続
	建 物	転用
利 活 用 方 針	廃止に向け協議中	
利活用方針の考え方	（仮称）防災食育センターへ集約し、令和5年度用途廃止予定。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、（仮称）防災食育センター供用開始まで適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	1,901	1,907	西通学校給食センター、大畑学校給食センターを含む
支 出 額	1,672	996	
差 引	229	911	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	236	250	配食数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	西通学校給食センター	延 床 面 積	402.00 m ²
所 在 地	むつ市川内町休所5番地1	建 設 年	2013年（平成25年）
複 合 施 設 名	川内小学校・川内中学校	耐 用 年 数	31年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	継続活用施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災 害 の 危 険 性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避 難 所 の 指 定	—
	投 票 所 の 指 定	—
	交 通 の 利 便 性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外 部 か ら の 需 要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス 建 物	行政サービスの継続 維持
利 活 用 方 針	存 続	
利活用方針の考え方	川内・脇野沢地区の学校給食提供のため利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	南通地区学校給食共同調理場に含む
支 出 額	3,839	4,153	
差 引	▲ 3,839	▲ 4,153	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	311	343	配食数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	大畑学校給食センター	延 床 面 積	484.00 m ²
所 在 地	むつ市大畑町兎沢163番地	建 設 年	1976年（昭和51年）
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	41年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	縮減施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	（仮称）防災食育センターへ集約予定
	社会的必要性への適合	適合
	災 害 の 危 険 性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避 難 所 の 指 定	—
	投 票 所 の 指 定	—
	交 通 の 利 便 性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外 部 か ら の 需 要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス 建 物	行政サービスの継続 廃止・解体
利 活 用 方 針	廃止に向け協議中	
利活用方針の考え方	（仮称）防災食育センターへ集約し、令和5年度用途廃止予定。老朽化が進んでいることから解体を進める。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、（仮称）防災食育センター供用開始まで適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6	解体設計	1,936	
R7	解体工事	19,360	市工事实績単価
R8			
合 計		21,296	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	南通地区学校給食共同調理場に含む
支 出 額	46,500	64,161	
差 引	▲ 46,500	▲ 64,161	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	578	580	配食数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局学校教育課
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	教育研修センター	延床面積	1,028.00 m ²
所在地	むつ市小川町二丁目19番1号	建設年	1974年（昭和49年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	下北文化会館
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約600m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・非常用照明不調・換気扇不調・2階トイレ故障

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの継続
	建物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	教育の充実及び振興を図るための施設であることから、行政サービスを継続しつつ、今後老朽化に伴い建物の維持が困難になることも想定されるため、代替施設について検討を進める。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	4,569	4,468	
支出額	23,432	24,106	
差引	▲ 18,863	▲ 19,638	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	1,370	1,142	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ運動公園交通広場	延床面積	204.00 m ²
所在地	むつ市山田町43番1号	建設年	1982年 (昭和57年)
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者からの要望があることから、大規模改修が必要となるまで維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		-	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	105	102	
支 出 額	1,048	1,605	
差 引	▲ 943	▲ 1,503	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	3,159	3,299	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	総合アリーナ	延床面積	8,010.41 m ²
所在地	むつ市真砂町9番1号	建設年	2020年（令和2年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	広域避難場所（救護所）
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約350m
	施設周辺の人口	市全域 56,244人
	各種計画との関連性	むつ市スポーツ施設整備計画
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

良好

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	下北地方最大級の重要な屋内スポーツ活動の拠点であることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	予防保全型管理の実施と計画的な修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	-	-	
支出額	-	-	
差引	-	-	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	川内体育館	延床面積	1,377.85 m ²
所在地	むつ市川内町榎木153番地	建設年	1988年（昭和63年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	学校体育館、総合アリーナ
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・土砂災害（グラウンド）
	避難所の指定	地震火災・津波災害・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約780m
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市スポーツ施設整備計画
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・暖房設備の老朽化 ・照明器具LED化検討必要
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者は減少しているが、川内地区の住民を中心にスポーツ活動等に使用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	292	289	
支出額	4,812	4,684	
差引	▲ 4,520	▲ 4,395	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	7,794	5,440	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	大畑体育館	延床面積	1,547.17 m ²
所在地	むつ市大畑町中島108番地5	建設年	1969年（昭和44年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	学校体育館、総合アリーナ
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・浸水・土砂災害（屋外）
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約470m
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	むつ市スポーツ施設整備計画
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	総合アリーナ供用開始後の利用者数の変動を見ながら、施設の統合も視野に入れ、存続の検討を進める。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	644	575	
支出額	1,625	2,832	
差引	▲ 981	▲ 2,257	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	19,233	18,988	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	釜臥山スキー場	延床面積	871.86 m ²
所在地	むつ市大字大湊字大川守44番地5	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約870m
	施設周辺の人口	市全域 56,244人
	各種計画との関連性	むつ市スポーツ施設整備計画
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市内唯一のスキー場であり、多数の利用があることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	第1スキーリフト架替工事	258,000	原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計		258,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	18	18	
支出額	0	0	むつ運動公園に含む
差引	18	18	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	190,735	150,629	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	ウェルネスパーク	延床面積	19,154.05 m ²
所在地	むつ市真砂町8番8号	建設年	2005年（平成17年）
複合施設名	—	耐用年数	47年
特記事項		構造・階数	鉄骨+鉄筋コンクリート造・塔屋2階地下1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	広域避難場所
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約350m
	施設周辺の人口	市全域 56,244人
	各種計画との関連性	むつ市スポーツ施設整備計画
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・非常灯切替ブロック不調・防火シャッター危害防止装置必要・自動開閉装置不調 ・雨漏り・雨漏りによる天井材の落下・消防設備の老朽化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	下北地方最大級のスポーツ施設であり、多くの利用者があることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	令和元年度策定の「修繕基本計画」により、計画的な修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	センターハウストップライト改修工事	8,541	
R4	ドーム換気窓部品交換工事 他	35,160	修繕基本計画（概算）
R5	ドーム鉄骨塗装工事 他	47,230	〃
R6	センターハウス外壁塗装改修工事 他	170,440	〃
R7	浄化槽ポンプ更新工事 他	14,760	〃
R8	コージェネ発電装置部品交換工事 他	17,860	〃
合計		293,991	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	2,307	1,919	
支出額	124,421	139,222	
差引	▲ 122,114	▲ 137,303	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	174,270	171,606	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	むつ運動公園	延床面積	1,494.10 m ²
所在地	むつ市山田町43番1号	建設年	1983年（昭和58年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約10m
	施設周辺の人口	市全域 56,244人
	各種計画との関連性	むつ市スポーツ施設整備計画
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。特に配水管の老朽化が顕著となっている。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者は減少しているが、下北地方唯一の日本陸連第二種公認陸上競技場など、むつ市のスポーツ振興を支える重要な拠点であることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	野球場不陸調整工事	7,392	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計		7,392	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	77	183	
支出額	78,159	74,455	釜臥山スキー場を含む
差引	▲ 78,082	▲ 74,272	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	65,467	63,436	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	ふれあいスポーツパーク	延床面積	1,061.02 m ²
所在地	むつ市川内町中道地内	建設年	1994年（平成6年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市スポーツ施設整備計画
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

雨漏りによるメインスタンド天井材の落下や老朽化によりスコアボード等附属設備に腐食等が発生している。
駐車場に一部陥没が見られる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	下北で地方大会が開催できる唯一の硬式野球対応野球場であり、高等学校硬式野球部や川内地区の住民を中心に利用者があることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	スコアボード改修工事	10,661	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計		10,661	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	169	144	
支出額	10,649	11,426	
差引	▲ 10,480	▲ 11,282	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	4,998	4,673	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	大畑中央公園	延床面積	1,943.43 m ²
所在地	むつ市大畑町涌館19番地1	建設年	1993年（平成5年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約50m
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	むつ市スポーツ施設整備計画
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場フェンスの腐食、一部倒壊 ・プール棟玄関屋根の腐食による雨漏り
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者は減少しているが、大畑地区の住民を中心にスポーツ活動等に使用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	高圧受電設備更新工事	5,242	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計		5,242	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	2,007	1,712	
支出額	41,767	42,913	宍沢スキー場を含む
差引	▲ 39,760	▲ 41,201	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	16,154	15,362	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	脇野沢総合運動場	延床面積	67.15 m ²
所在地	むつ市脇野沢瀬野川目152番地	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	不適合（使用されていない）
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約460m
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	むつ市スポーツ施設整備計画
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

バックネットやバックスクリーン等、施設及び設備の老朽化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 転用
利活用方針	廃止	
利活用方針の考え方	使用実績がないことから、スポーツ施設としては廃止し、多目的に使用できる広場として検討を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	バックネット解体工事	2,046	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計		2,046	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	146	75	
差引	▲ 146	▲ 75	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	244	10	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	産業雇用政策課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	イベント広場	延床面積	1,089.00 m ²
所在地	むつ市柳町一丁目323番4	建設年	1991年（平成3年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、下北交通むつバス・ミルから約350m、JRバス田名部駅から約180m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・むつ市の木・花・鳥の石版破損 ・火災報知器経年劣化・ドーム屋根内側損傷・壁面塗装剥がれ

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	雨天対応型屋外施設として需要が高く、多目的にわたり広く市民に利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		-	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	むつ来さまい館に含む
支 出 額	0	0	むつ来さまい館に含む
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	39,535	41,316	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	早掛レイクサイドヒルキャンプ場	延床面積	620.97 m ²
所在地	むつ市大字田名部字小平館の内尻釜45番地18	建設年	2001年（平成13年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約550m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市内唯一のオートキャンプ場であり、シーズンには数多く利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	4	2	
支出額	13,502	6,915	
差引	▲ 13,498	▲ 6,913	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	6,026	5,796	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	薬研野営場	延床面積	517.69 m ²
所在地	むつ市大畑町葉色山国有林地内	建設年	1996年（平成8年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市内外からの利用者があり、レクリエーション施設として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	828	864	
支 出 額	3,247	3,797	
差 引	▲ 2,419	▲ 2,933	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	1,447	1,515	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢野営場	延床面積	531.06 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引地内	建設年	1984年（昭和59年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約40m
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	廃止	
利活用方針の考え方	10棟のうち5棟は経年劣化が著しいため利用を停止しており、利用者数も減少傾向にあることから、令和3年度から廃止とする。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	リフレッシュセンター鱈の里に含む
支出額	0	0	リフレッシュセンター鱈の里に含む
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	312	513	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	薬研園地	延床面積	7.45 m ²
所在地	むつ市大畑町朝比奈岳国有林地内	建設年	1988年（昭和63年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	薬研地区のイベント等に活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	1,630	0	
支 出 額	1,362	0	
差 引	268	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	脇野沢体験農園	延床面積	47.85 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引107番地	建設年	1998年（平成10年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	不適合（ほぼ使用されていない）
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用希望者がいないことから、ほかの利活用の検討を進める。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	わきのさわ鯛島の館に含む
支出額	0	0	わきのさわ鯛島の館に含む
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	貝崎海水浴場	延床面積	141.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢九艘泊地内	建設年	1984年（昭和59年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	不適合（使用されていない）
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

施設へは、途中から車が進入できない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建物	廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	現在使用を休止しているが、特に苦情等はない。施設へは途中から車が進入ができないため、解体方法の検討を進めながら、定期的な見回りを続ける。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	ふれあい温泉川内	延床面積	731.75 m ²
所在地	むつ市川内町家ノ辺107番地	建設年	1972年 (昭和47年)
複合施設名	森林公園・旧川内キャンプ場	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	湯野川温泉濃々園、スパウッド観光ホテル
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約50m
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	湯野川温泉濃々園と集約化の検討を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、集約化の方向性が決まるまで適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	3,379	7	
支出額	12,864	13,156	濃々園、まちの駅かわうち、野平高原交流センターを含む
差 引	▲ 9,485	▲ 13,149	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	25,660	23,510	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	湯野川温泉濃々園	延床面積	263.32 m ²
所在地	むつ市川内町湯野川地内	建設年	1979年（昭和54年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	ふれあい温泉川内
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約210m
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	ふれあい温泉川内と集約化の検討を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、集約化の方向性が決まるまで適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	2,041	3	
支出額	0	0	ふれあい温泉川内に含む
差引	2,041	3	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	16,004	15,688	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	薬研温泉露天風呂	延床面積	155.12 m ²
所在地	むつ市大畑町赤滝山国有林地内	建設年	1986年（昭和61年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	薬研地区の観光施設として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	奥薬研修景公園に含む
支出額	0	0	奥薬研修景公園に含む
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	コミュニティセンター脇野沢温泉	延床面積	238.48 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引157番地2	建設年	2009年（平成21年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約5m
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	地域移管
	建物	民間移譲
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	地域住民の運営により、憩いの場として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	2,365	
支出額	141	10,397	
差引	▲141	▲8,032	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	8,176	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局生涯学習課
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	下北自然の家	延床面積	3,931.05 m ²
所在地	むつ市大畑町佐助川399番地	建設年	1979年（昭和54年）
複合施設名	—	耐用年数	47年
特記事項		構造・階数	鉄筋鉄骨コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約500m
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・屋外浄化槽動力盤、ブロワ不調 ・非常用照明不調・管理棟屋上FRP劣化
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	青少年の健全育成と市民の生涯学習活動の振興を図るための施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3	屋外浄化槽ブロワ改修工事	2,710	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		2,710	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備 考
収入額	25	25	
支出額	84,740	83,509	
差引	▲ 84,715	▲ 83,484	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利用者数	9,132	10,507	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	産業雇用政策課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	むつ来さまい館	延床面積	2,469.74 m ²
所在地	むつ市田名部町10番1号	建設年	2006年（平成18年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、下北交通むつバスターミナルから約230m、JRバス田名部駅から約50m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・屋外モニュメント屋根塗装の剥がれ ・エレベーター開走行保護装置設置必要

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	各種イベントや会議等の開催に活用されているほか、観光、ジオパーク、エネルギー広報拠点としてコミュニティFMの発信基地となっていることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図り、機能維持のため計画的な修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	空調設備更新工事	180,617	新希望のまち交付金
R3	エレベーター改修工事	1,130	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		181,747	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	172	155	イベント広場、むつ下北観光物産館を含む
支 出 額	64,426	66,103	イベント広場、むつ下北観光物産館を含む
差 引		▲ 65,948	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	72,089	75,534	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	北の防人大湊 安渡館	延床面積	525.00 m ²
所在地	むつ市桜木町3番1号	建設年	2014年（平成26年）
複合施設名	—	耐用年数	47年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約400m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・建物外周化粧モル劣化・トイレ臭気・ドア建具経年劣化 ・公園側土砂等流失による正面玄関汚れ
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	観光交流センターの拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	3,515	2,420	H29は海望館を含む
支出額	17,513	28,923	H29は海望館を含む、H30は海望館、式番館、みどりのさきもり館、水源池公園を含む
差引	▲ 13,998	▲ 26,503	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	79,939	81,594	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	北の防人大湊 海望館	延床面積	117.00 m ²
所在地	むつ市桜木町3番1号	建設年	2015年（平成27年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約450m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	芦崎湾や海上自衛隊艦艇を一望できる展望台として、安渡館と一体で利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	H29は安渡館に含む
支出額	0	0	安渡館に含む
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	56,005	57,122	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	産業雇用政策課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	むつ下北観光物産館	延床面積	1,728.30 m ²
所在地	むつ市柳町一丁目10番25号	建設年	1993年（平成5年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、下北交通むつバスターミナルから約350m、JRバス田名部駅から約220m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・全館シーリング経年劣化・地下オイルタンク劣化 ・照明設備改修必要・食堂設備の撤去必要
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	観光客の立ち寄り所として、また2階をオフィスとして貸付していることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図り、機能維持のため計画的な修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	消防設備更新工事	6,991	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		6,991	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	むつ来さまい館に含む
支出額	0	0	むつ来さまい館に含む
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	19,961	15,136	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	下北観光案内所	延床面積	32.40 m ²
所在地	むつ市下北町地内	建設年	2009年（平成21年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約5m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	観光地や交通手段の案内等、多くの観光客に利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	4	0	
差 引	▲ 4	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	12,077	10,539	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	まちの駅かわうち	延床面積	150.85 m ²
所在地	むつ市川内町川内115番地4	建設年	2003年（平成15年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約5m
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	バスの待合所として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	1	0	
支出額	0	0	ふれあい温泉川内に含む
差引	1	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	釜臥山観光施設	延床面積	213.83 m ²
所在地	むつ市大字大湊字大近川地内	建設年	1991年（平成3年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	不明
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・2階天井シートの剥がれによる破損

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	夜景観賞など、観光の場として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4	2階天井改修工事	1,600	
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		1,600	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	607	599	
支 出 額	10,361	11,798	
差 引	▲ 9,754	▲ 11,199	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	22,526	19,307	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	恐山観光施設	延床面積	127.52 m ²
所在地	むつ市大字田名部字宇曾利山3番地3	建設年	1991年（平成3年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	不明
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約5m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	恐山観光客のバス待合所として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	2	4	
支 出 額	5,381	6,809	
差 引	▲ 5,379	▲ 6,805	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	8,452	7,562	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	野平高原交流センター	延床面積	298.66 m ²
所在地	むつ市川内町福浦山314番地	建設年	1993年（平成5年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	川内地区で道の駅の機能をもつ観光施設として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	委託事業者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	1	2	
支出額	0	0	ふれあい温泉川内に含む
差引	1	2	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	20,552	21,894	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	奥薬研修景公園	延床面積	686.03 m ²
所在地	むつ市大畑町赤滝山1番地3	建設年	1992年（平成4年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	急傾斜地（危険区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。鳥による外壁の破損が見られる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	薬研地区の観光施設として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3	ろ過装置ポンプ・浄化槽ブロワ更新工事	2,893	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		2,893	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	1	2	薬研温泉露天風呂を含む
支 出 額	5,420	5,613	薬研温泉露天風呂を含む
差 引	▲ 5,419	▲ 5,611	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	10,586	10,094	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢リフレッシュセンター鱈の里	延床面積	671.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引146番地	建設年	1986年（昭和61年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約40m
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・非常灯照明器具不調

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	脇野沢地区で道の駅の機能をもつ観光施設として活用されていることから、維持管理を継続する。また、管理運営の効率化が図られることから、鯛島の館と複合化に向けて検討を続ける。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	脇野沢野営場を含む
支出額	6,973	6,447	脇野沢野営場を含む
差引	▲ 6,973	▲ 6,447	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	14,061	16,618	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢流通センター	延床面積	287.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢本村227番地	建設年	1988年（昭和63年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特徴	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約160m
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	脇野沢地区の特産物展示やシイライン営業所に使用許可して観光案内等に活用されていることから、維持管理を継続する。また、マリンハウス脇野沢と複合化の検討を進める。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	707	723	
支出額	1,268	1,614	
差引	▲ 561	▲ 891	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	3,000	3,000	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	わきのさわ鯛島の館	延床面積	779.37 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引201番地5	建設年	1998年 (平成10年)
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約160m
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・屋外キュービクル交換必要

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	管理運営の効率化が図られることから、リフレッシュセンター鱈の里と複合化に向けて検討を続ける。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	脇野沢体験農園を含む
支 出 額	7,937	7,446	脇野沢体験農園を含む
差 引	▲ 7,937	▲ 7,446	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	4,745	4,699	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	マリンハウス脇野沢	延床面積	400.68 m ²
所在地	むつ市脇野沢本村227番地	建設年	1993年（平成5年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約160m
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<p>外壁、看板及び展示用水槽に破損が見られる。 水産関係食品を販売しているが、冷房設備がないため、衛生的に良好でない。</p>
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 廃止・解体
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	空調施設がないため、衛生的に良好ではないことから、脇野沢流通センターへ複合化に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	2,536	3,004	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	脇野沢野猿公苑	延床面積	191.10 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引地内	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	野猿資料展示管理棟	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	要検討
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約40m
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・金網部分のほつれ ・見学スペースの道路破損

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	農作物被害軽減のため、文化庁の許可を得て捕獲、飼養を行い、いずれ放獣する決まりとなっているが、放獣すると農作物被害の拡大が想定されるため、猿がいるまで管理を継続する必要がある。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	688	729	
支出額	2,879	2,974	
差 引	▲ 2,191	▲ 2,245	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	3,697	3,912	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	屏風山ヒュッテ	延床面積	67.00 m ²
所在地	むつ市大字田名部字矢立山地内	建設年	1966年（昭和41年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	不明
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	登山客の休憩や避難場所として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	72	72	
差 引	▲ 72	▲ 72	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大滝休憩所	延床面積	79.30 m ²
所在地	むつ市川内町獅子畑地内	建設年	1991年（平成3年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	不明
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	川内川渓谷遊歩道周辺における観光客等に利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	2	
支出額	0	357	
差引	0	▲ 355	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	奥薬研駐車場広場	延床面積	55.57 m ²
所在地	むつ市大畑町赤滝山国有林地内	建設年	1994年（平成6年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	観光客の休憩場所として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	薬研多目的休憩所	延床面積	87.00 m ²
所在地	むつ市大畑町朝比奈岳国有林地内	建設年	1995年（平成7年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	有（地震火災・津波災害・浸水）
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	観光客の休憩場所として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	380	
差引	0	▲ 380	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	斗南藩土上陸の地	延床面積	10.71 m ²
所在地	むつ市大湊新町395番地	建設年	1989年（昭和64年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	歴史的価値
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	最寄バス停から約400m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	歴史的価値のある施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	157	
差引	0	▲157	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	斗南藩墳墓の地	延床面積	10.71 m ²
所在地	むつ市大字田名部字最花38番地1	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	歴史的価値
	災害の危険性	不明
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約160m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	歴史的価値のある施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	斗南藩史跡地	延床面積	10.71 m ²
所在地	むつ市大字田名部字斗南丘29番地30	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	歴史的価値
	災害の危険性	不明
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	最寄バス停から約5m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	歴史的価値のある施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	2	2	
支出額	657	243	
差引	▲ 655	▲ 241	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	宮後牧野	延床面積	119.24 m ²
所在地	むつ市大字田名部字宮後37番3の内	建設年	2000年（平成12年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	宮後・永下牧野を整備し、金谷沢牧野の集約を進める。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	測量	16,811	草地畜産基盤整備事業
R4	造成事業	31,245	草地畜産基盤整備事業、再編整備整備事業
R5	造成事業	25,124	草地畜産基盤整備事業
R6	造成事業	58,451	草地畜産基盤整備事業
R7	造成事業	5,845	草地畜産基盤整備事業
R8			
合 計		137,476	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	8,382	8,382	永下牧野、金谷沢牧野を含む
差 引	▲ 8,382	▲ 8,382	

(単位：頭)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	12,727	15,545	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	永下牧野	延床面積	5,247.22 m ²
所在地	むつ市大字城ヶ沢字袖越2番1外	建設年	1995年（平成7年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項	川内牧野の休止に伴い、川内地区の農家の利用増	構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<p>建物は、現在のところ特に問題はない。</p> <p>放牧地は、一部沈降。草地整備を行っているが、状態は悪い。</p>

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	宮後・永下牧野を整備し、金谷沢牧野の集約を進める。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			宮後牧野に含む
R4			宮後牧野に含む
R5			宮後牧野に含む
R6			宮後牧野に含む
R7			宮後牧野に含む
R8			宮後牧野に含む
合 計		-	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	宮後牧野に含む
差引	0	0	

(単位：頭)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	17,314	26,549	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	金谷沢牧野	延床面積	965.00 m ²
所在地	むつ市大字奥内字奥内第1国有林内	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	宮後牧野、永下牧野、名子牧野
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<p>建物は、現在のところ特に問題はない。</p> <p>放牧地は凸凹が多く、草が生えない箇所があり、状態は悪い。</p>

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建物	集約化・複合化・多機能化 維持
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	利用者数が減少していることから、宮後・永下牧野へ集約し、本牧野は一部採草地として利用可能な箇所があることを含め、廃止に向け協議を進めている。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	宮後牧野に含む
差引	0	0	

(単位：頭)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	12,197	7,934	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	川内牧野	延床面積	38.88 m ²
所在地	むつ市川内町板家戸国有林内外	建設年	1972年（昭和47年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	永下牧野
	社会的必要性への適合	不適合（使用されていない）
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 廃止・解体
利活用方針	廃止に向け協議中	
利活用方針の考え方	牧野として利用がないことから、廃止及び国へ返地をするため、森林管理署と協議を進めている。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	4,334	5,593	
差引	▲ 4,334	▲ 5,593	

(単位：頭)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	12,200	0	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	瀬野畜舎	延床面積	568.29 m ²
所在地	むつ市脇野沢瀬野川目248番地3	建設年	1986年（昭和61年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	滝山畜舎、源藤城畜舎
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市の畜産振興を担う施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	3,476	2,908	瀬野農機具庫、滝山畜舎、源藤城畜舎、瀬野牧野、滝山牧野、源藤城牧野を含む
差引	▲ 3,476	▲ 2,908	

(単位：頭)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	12,766	14,999	滝山畜舎を含む

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	滝山牧野	延床面積	46.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢源藤城国有林地内外	建設年	1987年（昭和62年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	瀬野牧野、源藤城牧野
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市の畜産振興を担う施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	瀬野畜舎に含む
差引	0	0	

(単位：頭)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	滝山畜舎	延床面積	379.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引201番地112	建設年	1996年（平成8年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	瀬野畜舎、源藤城畜舎
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市の畜産振興を担う施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	瀬野畜舎に含む
差引	0	0	

(単位：頭)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	瀬野畜舎に含む

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	源藤城牧野	延床面積	59.62 m ²
所在地	むつ市脇野沢源藤城国有林地内外	建設年	1996年（平成8年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	瀬野牧野、滝山牧野
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市の畜産振興を担う施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	瀬野畜舎に含む
差引	0	0	

(単位：頭)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	源藤城畜舎	延床面積	2,581.69 m ²
所在地	むつ市脇野沢源藤城204番地172	建設年	1996年（平成8年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	瀬野畜舎、滝山畜舎
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市の畜産振興を担う施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	瀬野畜舎に含む
差引	0	0	

(単位：頭)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	水川目地区堆肥センター	延床面積	2,711.00 m ²
所在地	むつ市大字関根字水川目138番地208	建設年	2002年（平成14年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市の農畜産振興を担う施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	160	168	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	巖川地区共同倉庫	延床面積	244.86 m ²
所在地	むつ市川内町巖川103番地80	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	貸付中	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 民間移譲
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	貸付を行っているが、使用に支障が生じた場合は、貸付先と今後について検討する。	
管理に関する実施方針	修繕等の費用は貸付先が負担することとなっている。貸付先と調整を図りながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	瀬野農機具庫	延床面積	103.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢瀬野川目72番地	建設年	1986年（昭和61年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市の畜産振興を担う施設の倉庫であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	瀬野畜舎に含む
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	花卉育苗施設	延床面積	543.37 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引157番地1	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	貸付中

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	貸付を行っているが、使用に支障をきたした場合は、貸付先と協議を図り、解体を進める。	
管理に関する実施方針	貸付先と調整を図りながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	122	0	
差引	▲122	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	陶芸センター	延床面積	328.00 m ²
所在地	むつ市川内町獅子畑128番地1	建設年	1989年 (昭和64年)
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	地域の特産品として宇賀焼を活用するため、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	995	607	
支出額	937	611	
差引	58	▲4	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	332	354	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	川内町淡水魚増養殖施設	延床面積	54.65 m ²
所在地	むつ市川内町獅子畑128番地1	建設年	1998年（平成10年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	淡水魚増養殖事業を推進し、内水面漁業の振興を図るための施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	管理委託者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	川内町さけ・ますふ化場	延床面積	109.35 m ²
所在地	むつ市川内町館山下29番地5	建設年	1979年（昭和54年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 民間移譲
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	さけ及びますの増殖事業を推進し、水産業の振興を図るための施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	管理委託者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	138	85	
差 引	▲ 138	▲ 85	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	脇野沢水産物処理加工センター	延床面積	1,148.92 m ²
所在地	むつ市脇野沢本村227番地	建設年	1993年（平成5年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 民間移譲
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	水産物の付加価値拡大と魚価所得の向上及び地域経済の活性化を図るための施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	管理委託者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	脇野沢魚類種苗生産施設	延床面積	377.59 m ²
所在地	むつ市脇野沢本村227番地	建設年	1986年（昭和61年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	不適合（使用されていない）
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建物	廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	クロソイ及びマダラの種苗生産を行っていたが、現在は行われておらず、施設は休止状態となっていることから、解体に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	大畑庁舎市民生活課
-------	-----------

1 施設の概要

施設名	地方卸売市場大畑町魚市場	延床面積	3,116.60 m ²
所在地	むつ市大畑町湊村地内	建設年	2017年（平成29年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・塩害によるオーバースライダーの錆び ・床材の剥離
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	水産流通の拠点であることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	-	2	
支出額	-	4,887	
差引	-	▲ 4,885	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	25,320	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	脇野沢水産物荷捌施設	延床面積	492.81 m ²
所在地	むつ市脇野沢本村228番地	建設年	1996年（平成8年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市の水産振興を担う施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	管理委託者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 市民連携課

1 施設の概要

施設名	海老川コミュニティセンター	延床面積	480.29 m ²
所在地	むつ市緑町3番1号	建設年	2001年（平成13年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	下北文化会館、各町内会集会所
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約700m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	コミュニティ活動の拠点として多くの利用者があることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	70	83	
支出額	2,738	2,715	
差引	▲ 2,668	▲ 2,632	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	11,418	10,912	

所 管 課	市民連携課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大曲コミュニティセンター	延床面積	535.72 m ²
所在地	むつ市大曲二丁目1番1号	建設年	1997年（平成9年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特徴	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	各町内会集会所
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約900m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

・屋根劣化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	コミュニティ活動の拠点として多くの利用者があることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5	屋根改修工事	8,041	
R6			
R7			
R8			
合 計		8,041	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	80	90	
支出額	959	912	
差 引	▲ 879	▲ 822	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	8,392	6,734	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 市民連携課

1 施設の概要

施設名	高橋川コミュニティセンター	延床面積	116.76 m ²
所在地	むつ市大畑町高橋川30番地7	建設年	1997年（平成9年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特徴	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

屋根及び外壁の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用実績は多くはないものの、複数の地域の避難所となっていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4	屋根及び外壁塗装工事	4,302	
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		4,302	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	186	202	
差 引	▲ 186	▲ 202	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	205	215	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 市民連携課

1 施設の概要

施設名	小沢地区生活福祉センター	延床面積	375.54 m ²
所在地	むつ市脇野沢鹿間平61番地4	建設年	1973年（昭和48年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

屋根及び外壁の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	248	286	
差引	▲ 248	▲ 286	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	427	80	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 市民連携課

1 施設の概要

施設名	滝山地区生活福祉センター	延床面積	354.84 m ²
所在地	むつ市脇野沢滝山150番地	建設年	1975年（昭和50年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	11	
支出額	288	283	
差 引	▲ 288	▲ 272	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	146	156	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 市民連携課

1 施設の概要

施設名	九艘泊地区生活福祉センター	延床面積	342.42 m ²
所在地	むつ市脇野沢九艘泊167番地	建設年	1976年（昭和51年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

屋根及び外壁の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	11	0	
支出額	288	306	
差引	▲ 277	▲ 306	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	234	61	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 市民連携課

1 施設の概要

施設名	寄浪地区生活福祉センター	延床面積	312.66 m ²
所在地	むつ市脇野沢寄浪41番地	建設年	1977年（昭和52年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

屋根及び外壁の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	11	19	
支出額	430	294	
差引	▲ 419	▲ 275	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	263	295	

所 管 課	市民連携課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	蛸田地区生活福祉センター	延床面積	316.33 m ²
所在地	むつ市脇野沢蛸田86番地	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

屋根及び外壁の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	周辺地域のコミュニティ活動の拠点として利用されているものの、利用者数は減少傾向にあり、施設の老朽化が進んでいる。避難所としては、各種災害に対応でき、当該地区に代替施設がないことから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	7	11	
支出額	542	298	
差引	▲ 535	▲ 287	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	248	178	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 市民連携課

1 施設の概要

施設名	新井田地区生活改善センター	延床面積	121.05 m ²
所在地	むつ市脇野沢新井田12番地	建設年	1978年（昭和53年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	脇野沢中学校（避難所）
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,477人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

屋根及び外壁の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。避難所としては近隣地区に指定避難所である脇野沢中学校体育館があることから、集約化に向けては慎重に検討を進める。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	260	234	
差 引	▲ 260	▲ 234	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	35	35	

所 管 課	市民連携課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	瀬野地区コミュニティセンター	延床面積	328.88 m ²
所在地	むつ市脇野沢瀬野川目65番地	建設年	1979年（昭和54年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	脇野沢中学校（避難所）
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,477人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

屋根及び外壁の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。避難所としては近隣地区に指定避難所である脇野沢中学校体育館があることから、集約化に向けて慎重に検討を進める。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	47	29	
支出額	484	402	
差引	▲ 437	▲ 373	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	710	370	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局中央公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	中央公民館	延床面積	1,646.82 m ²
所在地	むつ市大湊浜町13番1号	建設年	1992年（平成4年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	地震火災・浸水
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	地域コミュニティの集いの場であり、生涯学習の拠点施設として多くの市民に利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のため計画的な改修及び修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	館内照明器具LED化工事	27,082	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		27,082	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	231	301	
支 出 額	14,193	21,570	
差 引	▲ 13,962	▲ 21,269	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	39,384	39,014	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	川内公民館	延床面積	1,741.00 m ²
所在地	むつ市川内町榎木153番地	建設年	1973年（昭和48年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	各地区公民館、各町内会集会所
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・排気フード破損・換気扇不調 ・非常用照明不調・雨水配管破損

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	36	50	
支 出 額	7,139	7,145	
差 引	▲ 7,103	▲ 7,095	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	3,806	3,896	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施 設 名	蛸崎地区公民館	延 床 面 積	283.00 m ²
所 在 地	むつ市川内町蛸崎寺ノ前148番地36	建 設 年	1972年 (昭和47年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	24年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	建物性能改善施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・外壁ひび割れ ・外壁破損により雨水の侵入あり
--

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建 物	再検討
利 活 用 方 針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	144	119	
差 引	▲ 144	▲ 119	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	461	340	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施 設 名	宿野部地区公民館	延 床 面 積	412.00 m ²
所 在 地	むつ市川内町宿野部106番地1	建 設 年	1973年 (昭和48年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	24年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	建物性能改善施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・基礎ひび割れ、破損

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建 物	再検討
利 活 用 方 針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	152	288	
差 引	▲ 152	▲ 288	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	504	355	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	桧川地区公民館	延床面積	308.00 m ²
所在地	むつ市川内町桧川川代4番地1	建設年	1971年（昭和46年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・基礎ひび割れ・外壁破損・屋根劣化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	179	141	
差 引	▲ 179	▲ 141	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	142	133	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	田野沢地区公民館	延床面積	221.00 m ²
所在地	むつ市川内町田野沢126番地	建設年	1977年（昭和52年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・基礎ひび割れ・外壁破損・屋根劣化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建築物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		-	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	380	137	
差引	▲ 380	▲ 137	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	476	296	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	戸沢地区公民館	延床面積	244.00 m ²
所在地	むつ市川内町川代15番地1	建設年	1972年（昭和47年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・基礎仕上げモリタル破損 ・天井破損

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	175	105	
差引	▲175	▲105	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	225	152	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	下小倉平地区公民館	延床面積	147.17 m ²
所在地	むつ市川内町下小倉平98番地	建設年	1974年（昭和49年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	108	88	
差引	▲108	▲88	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	128	358	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	上小倉平地区公民館	延床面積	245.00 m ²
所在地	むつ市川内町上小倉平104番地1	建設年	1975年（昭和50年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・外壁ひび割れ、破損 ・屋根劣化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	117	206	
差 引	▲ 117	▲ 206	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	770	425	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	银杏木地区公民館	延床面積	391.00 m ²
所在地	むつ市川内町银杏平31番地	建設年	1976年（昭和51年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・基礎破損・土留めひび割れ・屋根劣化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	134	98	
差 引	▲ 134	▲ 98	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	314	237	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施 設 名	安部城地区公民館	延 床 面 積	125.00	m ²
所 在 地	むつ市川内町新田290番地44	建 設 年	1974年	(昭和49年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	24年	
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階	

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	建物性能改善施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建 物	再検討
利 活 用 方 針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	108	79	
差 引	▲ 108	▲ 79	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	26	56	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施 設 名	畑地区公民館	延 床 面 積	313.00 m ²
所 在 地	むつ市川内町家ノ辺97番地	建 設 年	1979年 (昭和54年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	24年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	建物性能改善施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災 害 の 危 険 性	土石流 (警戒区域)
	緊急避難場所の指定	—
	避 難 所 の 指 定	浸水
	投 票 所 の 指 定	有
	交 通 の 利 便 性	駐車場有
	施 設 周 辺 の 人 口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・基礎ひび割れ ・外壁破損
--

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建 物	再検討
利 活 用 方 針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	125	162	
差 引	▲ 125	▲ 162	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	643	736	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	湯野川地区公民館	延床面積	284.00 m ²
所在地	むつ市川内町湯野川25番地1	建設年	1978年（昭和53年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・外壁劣化による破損

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	133	107	
差 引	▲ 133	▲ 107	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	136	51	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施 設 名	初見地区公民館	延 床 面 積	129.00	m ²
所 在 地	むつ市川内町休所42番地140	建 設 年	1982年	(昭和57年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	24年	
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階	

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	建物性能改善施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災 害 の 危 険 性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避 難 所 の 指 定	地震火災・津波災害・浸水
	投 票 所 の 指 定	—
	交 通 の 利 便 性	駐車場有
	施 設 周 辺 の 人 口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・外壁劣化による破損 ・屋根劣化

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建 物	再検討
利 活 用 方 針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	117	145	
差 引	▲ 117	▲ 145	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	194	231	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	夔川地区公民館	延床面積	221.00 m ²
所在地	むつ市川内町夔川103番地80	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・外壁劣化による破損 ・屋根劣化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	29	37	
支出額	108	186	
差引	▲ 79	▲ 149	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	157	181	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局川内公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	石倉地区公民館	延床面積	142.00 m ²
所在地	むつ市川内町石倉沢75番地2	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	117	106	
差 引	▲ 117	▲ 106	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	114	120	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局大畑公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施 設 名	大畑公民館	延 床 面 積	1,374.49 m ²
所 在 地	むつ市大畑町中島108番地5	建 設 年	1969年（昭和44年）
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	50年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	建物性能改善施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	総合福祉センター、中島児童館、各町内会集会所
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・施設全体雨漏り ・窓枠腐食・床ひび割れ

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	集約化・複合化・多機能化
	建 物	廃止・解体
利 活 用 方 針	廃止	
利活用方針の考え方	地域のコミュニティー活動の拠点として利用されているが、老朽化が著しいことから、地域内の施設へ移転、複合化の検討を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、廃止まで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		-	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	116	114	
支 出 額	11,418	11,671	
差 引	▲ 11,302	▲ 11,557	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	10,492	14,199	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局大畑公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施 設 名	関根橋地区公民館	延 床 面 積	191.70 m ²
所 在 地	むつ市大畑町関根橋14番地	建 設 年	1978年 (昭和53年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	24年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	建物性能改善施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・屋根トタン腐食

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建 物	再検討
利 活 用 方 針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	156	669	
差 引	▲ 156	▲ 669	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	1,061	607	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局大畑公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	小目名地区公民館	延床面積	197.23 m ²
所在地	むつ市大畑町小目名村54番地	建設年	1976年（昭和51年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・床腐食

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	151	213	
差引	▲ 151	▲ 213	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	316	284	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局大畑公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	孫次郎間地区公民館	延床面積	202.88 m ²
所在地	むつ市大畑町孫次郎間19番地24	建設年	1975年（昭和50年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	110	110	
差引	▲110	▲110	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	392	398	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局大畑公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	木野部地区公民館	延床面積	206.55 m ²
所在地	むつ市大畑町佐助川29番地3	建設年	1978年（昭和53年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、土石流（警戒区域）、津波浸水
	緊急避難場所の指定	地震火災・浸水
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・屋根トタン腐食

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	158	169	
差 引	▲ 158	▲ 169	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	348	240	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局大畑公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施 設 名	赤川地区公民館	延 床 面 積	217.69 m ²
所 在 地	むつ市大畑町大赤川3番地4	建 設 年	1975年 (昭和50年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	24年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	建物性能改善施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災 害 の 危 険 性	急傾斜地（警戒区域）、津波浸水
	緊急避難場所の指定	地震火災・浸水
	避 難 所 の 指 定	浸水
	投 票 所 の 指 定	有
	交 通 の 利 便 性	駐車場有
	施 設 周 辺 の 人 口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・屋根トタン腐食

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建 物	再検討
利 活 用 方 針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	169	163	
差 引	▲ 169	▲ 163	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	295	292	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局大畑公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	二枚橋地区公民館	延床面積	458.46 m ²
所在地	むつ市大畑町釣屋浜16番地2	建設年	1973年（昭和48年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	二枚橋小学校
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	地震火災・浸水
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・会議室雨漏り ・屋根トタン腐食

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建物	再検討
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	地域のコミュニティー活動の拠点として利用されているが、老朽化が著しいことから、地域内の施設へ移転、複合化の検討を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、方向性が決まるまで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	318	223	
差 引	▲ 318	▲ 223	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	733	591	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局大畑公民館
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	正津川地区公民館	延床面積	560.00 m ²
所在地	むつ市大畑町正津川平87番地10	建設年	1972年（昭和47年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋鉄骨コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	正津川小学校
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	地震火災・浸水・土砂災害
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・屋根トタン腐食

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建物	再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	322	319	
差引	▲ 322	▲ 319	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	1,098	964	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局脇野沢公民館
-------	----------------

1 施設の概要

施設名	脇野沢公民館（脇野沢地域交流センター）	延床面積	1,854.03 m ²
所在地	むつ市脇野沢渡向107番地1	建設年	2005年（平成17年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	洪水浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	地震火災・津波災害・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	コミュニティ活動の拠点として多くの利用者があることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	9	33	
支出額	3,955	3,762	
差引	▲ 3,946	▲ 3,729	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	5,324	5,109	

所 管 課	市民連携課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	城ヶ沢地区集会所	延床面積	354.35 m ²
所在地	むつ市大字城ヶ沢字早崎15番地3	建設年	1983年（昭和58年）
複合施設名	—	耐用年数	47年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	地震火災・浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

屋根及び外壁の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	町内会による利用が主であるものの、町内会への譲渡は経費等の面から難しいと考えられるため、近隣地区に代替施設があれば、集約及び複合化の検討を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	509	542	
差引	▲ 509	▲ 542	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	882	700	

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	みどりのさきもり館	延床面積	563.22 m ²
所在地	むつ市宇田町21番25号	建設年	2013年（平成25年）
複合施設名	—	耐用年数	47年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	各種会議等やサークル活動及び植栽体験活動等を行う施設として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	63	8	
支出額	4,093	0	H30は安渡館に含む
差引	▲4,030	8	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	8,519	8,593	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	酪農研修センター	延床面積	216.96 m ²
所在地	むつ市大字関根字水川目138番地100	建設年	2013年（平成25年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

良好

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市の農畜産振興を担う人材育成のための施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	436	693	
差 引	▲ 436	▲ 693	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	220	140	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	大室平地区学習施設	延床面積	166.44 m ²
所在地	むつ市大字奥内字大室平23番地10	建設年	2011年（平成23年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用実績は多くはないものの、地域のコミュニティ活動の場として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	維持管理経費は地元住民が負担している。利用者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	60	60	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	脇野沢庁舎管理課
-------	----------

1 施設の概要

施設名	芋田地区集会所（旧第5分団第2班屯所）	延床面積	58.31 m ²
所在地	むつ市脇野沢九艘泊14番地2	建設年	1983年（昭和58年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	不適合（使用されていない）
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 廃止・解体
利活用方針	廃止	
利活用方針の考え方	集会所として利用がなく、閉鎖していることから、廃止に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局図書館
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	図書館	延床面積	3,239.65 m ²
所在地	むつ市中央二丁目3番10号	建設年	1999年（平成11年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から90m
	施設周辺の人口	市全域 56,244人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・換気扇一部不調 ・排煙窓、オペレーター不調

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	読書をはじめとする情報サービスを提供するための施設であることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のため計画的な改修及び修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	館内照明器具LED化工事	30,019	
R3	空調設備改修工事	10,293	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		40,312	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	252	251	
支 出 額	108,202	113,133	
差 引	▲ 107,950	▲ 112,882	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	125,001	129,018	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局生涯学習課
-------	---------------

1 施設の概要

施 設 名	文化財収蔵庫	延 床 面 積	1,562.67 m ²
所 在 地	むつ市金谷一丁目1番10号	建 設 年	1982年（昭和57年）
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	38年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	鉄骨造・3階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	縮減施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約270m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

--

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス 建 物	行政サービスの継続 維持
利 活 用 方 針	存 続	
利活用方針の考え方	重要文化財指定品をはじめ多くの文化財を保管していることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		-	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	2,668	3,741	
差 引	▲ 2,668	▲ 3,741	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	179	150	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局生涯学習課
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	川内地区文化財収蔵庫	延床面積	359.00 m ²
所在地	むつ市川内町榎木164番地1	建設年	1999年（平成11年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	多くの文化財を保管していることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	23	24	
差 引	▲ 23	▲ 24	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	船小屋休憩所	延床面積	250.76 m ²
所在地	むつ市脇野沢九艘泊476番地	建設年	1994年（平成6年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	要検討
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、塩害により施設及び設備の劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	集約化・複合化・多機能化
	建物	廃止・解体
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	文化財（和船、古い漁具）を保管している。文化財の保管先と、防災無線施設があることから生涯学習課及び防災安全課と移設について検討し、廃止・解体を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕を実施しながら、廃止まで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	22	23	
差引	▲22	▲23	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	北の防人大湊 貳番館	延床面積	283.13 m ²
所在地	むつ市桜木町5番64号	建設年	2016年（平成28年）
複合施設名	—	耐用年数	
特記事項		構造・階数	石造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約400m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	文化、自然学習交流施設として、また北の防人大湊ガイド員養成・活動やジオサイトの紹介拠点として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	1	17	
支出額	2,812	0	H30は安渡館に含む
差引	▲ 2,811	17	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	6,620	4,917	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局生涯学習課
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	海と森ふれあい体験館	延床面積	477.89 m ²
所在地	むつ市川内町川内477番地	建設年	2004年（平成16年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約120m
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	海、山等の豊かな自然を活用した生涯学習の場であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	102	
支出額	9,446	13,677	
差引	▲ 9,446	▲ 13,575	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	7,027	7,667	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	野猿生態観察舎	延床面積	41.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢源藤城地内	建設年	1975年（昭和50年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	不適合（使用されていない）
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

施設へは、途中から車が進入できない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建物	廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	現在使用されていない。施設へは途中から車が進入ができないため、解体方法の検討を進めながら、定期的な見回りを続ける。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	43	43	
差 引	▲ 43	▲ 43	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	野猿資料展示管理棟	延床面積	81.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引地内	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	脇野沢野猿公苑	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	脇野沢野猿公苑に併設する施設であるが、経年劣化が進んでおり、廃止に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	子育て支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	キッズパーク	延床面積	563.96 m ²
所在地	むつ市金谷一丁目1番11号	建設年	1997年（平成9年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約330m
	施設周辺の人口	市全域 56,244人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	子育て家庭の交流、子どもの健やかな育成を支援するための施設であることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	予防保全型管理の実施と計画的な修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		-	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	143	260	
支出額	7,117	7,272	
差 引	▲ 6,974	▲ 7,012	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	25,352	28,552	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	高齢者福祉課
-------	--------

1 施設の概要

施 設 名	老人憩いの家長寿荘	延 床 面 積	354.42 m ²
所 在 地	むつ市大字関根字出戸川目218番地1	建 設 年	1993年 (平成5年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	22年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	利活用推進施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	不適合 (休止中)
	災 害 の 危 険 性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避 難 所 の 指 定	—
	投 票 所 の 指 定	—
	交 通 の 利 便 性	駐車場有、最寄バス停から約60m
	施 設 周 辺 の 人 口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外 部 か ら の 需 要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・基礎クラック・軒裏損傷・施錠不良・屋根材腐食・床のたわみ・排煙口開閉不良 ・ポーチタイル損傷・内部壁クラック・非常灯点灯不良・通気管取付金物損傷
--

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	行政サービスの再検討
	建 物	廃止・解体
利 活 用 方 針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	平成29年度から利用者の減少により休止中。市有財産利活用民間提案制度等による利活用を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	高齢者福祉課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	老人憩いの家福寿荘	延床面積	395.28 m ²
所在地	むつ市川守町5番9号	建設年	1975年（昭和50年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約60m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・非常用照明点灯不良・照度測定不可・火気使用室換気量不足 ・トイレ配水管及びトラップの欠損 ・屋外煙突（未使用）腐食
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	高齢者の地域コミュニティ活動の拠点として多くの利用者があることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	47	45	老人憩いの家福寿荘、シルバーアリーナむつを含む
支 出 額	7,472	8,114	老人憩いの家福寿荘、シルバーアリーナむつを含む
差 引	▲ 7,425	▲ 8,069	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	5,863	6,321	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	高齢者福祉課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	老人憩いの家福寿荘	延床面積	347.86 m ²
所在地	むつ市新町32番36号	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約310m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・火気使用室換気量不足・非常灯点灯不良・点検スイッチ破損 ・点灯不良による照度測定不可・浄化槽蓋破損 ・玄関タイル破損・集会室窓枠腐食・屋外ゲートボール場周囲柵腐食
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	高齢者の地域コミュニティ活動の拠点として多くの利用者があることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	老人憩いの家福寿荘に含む
支出額	0	0	老人憩いの家福寿荘に含む
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	5,092	5,404	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	高齢者福祉課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	シルバーアリーナむつ	延床面積	962.00 m ²
所在地	むつ市新町32番36号	建設年	1999年（平成11年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約310m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター劣化 ・雨漏り
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	高齢者の地域交流を図るための施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	老人憩いの家福寿荘に含む
支出額	0	0	老人憩いの家福寿荘に含む
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	2,877	2,888	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	高齢者生きがい農園	延床面積	2,757.23 m ²
所在地	むつ市川内町中道288番地1地先	建設年	1999年（平成11年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	不適合（休止中）
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 廃止・解体
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	利用希望者がいないことから、ほかの利活用方法を検討し、利活用困難と判断される場合は、廃止とする。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	295	239	
支出額	305	239	
差引	▲10	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	33	33	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎市民生活課
-------	-----------

1 施設の概要

施設名	高齢者作業施設年輪会館	延床面積	81.14 m ²
所在地	むつ市川内町休所42番地293	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	地区公民館、町内会集会所
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあるが、地域のコミュニティ活動の拠点として利用されていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	維持管理経費は地元の老人クラブが負担している。利用者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	520	821	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	高齢者福祉課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	総合福祉センター	延床面積	2,536.26 m ²
所在地	むつ市大畑町観音堂25番地1	建設年	1999年（平成11年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約460m
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・非常用照明不調・自家発電設備使用不能 ・男子浴室及び脱衣室絶縁不良

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	デイサービスセンターや社会福祉協議会へ使用を許可しており、福祉団体等への貸出や各種検診の利用があることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のため計画的な改修及び修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	給水ポンプほか機械設備更新工事	21,587	
R4	屋上防水シート改修設計	2,000	
R5	屋上防水シート改修工事	20,000	市工事实績単価
R6			
R7			
R8			
合 計		43,587	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	5,766	6,177	
支 出 額	23,463	29,677	
差 引	▲ 17,697	▲ 23,500	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	12,960	10,668	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	高齢者福祉課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	老人福祉センター	延床面積	499.52 m ²
所在地	むつ市大畑町赤滝山国有林58林班へ2小班外	建設年	1972年（昭和47年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	薬研温泉
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> 調理室換気不足・外壁損傷・屋根腐食・雨漏りによる床腐食 貯湯槽老朽化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいが、地域住民からの要望があるため、可能な限り活用しながら存続の検討を続ける。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	屋根改修工事	4,042	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		4,042	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	2,128	1,434	
支出額	6,027	9,533	
差 引	▲ 3,899	▲ 8,099	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	13,781	9,889	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	障がい福祉課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	心身障害者ふれあいの家	延床面積	218.13 m ²
所在地	むつ市新町32番37号	建設年	1989年(平成元年)
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	民間施設
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約310m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

外壁や床等の経年劣化が進んでいるが、現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は増加しており、定期的な利用団体もあることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	指定管理者と調整を図りながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	2,460	2,460	
差 引	▲ 2,460	▲ 2,460	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	1,064	1,101	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	管財課
-------	-----

1 施設の概要

施設名	本庁舎	延床面積	17,768.29 m ²
所在地	むつ市中央一丁目8番1号	建設年	1995年（平成7年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有、バス停有
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・高圧区分開閉器及び冷却塔交換必要

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	当市行政の中核となる施設であり、多くの利用者があることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	「本庁舎維持管理計画」により、計画的な改修を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	本庁舎電気室改修工事	52,613	
R3	照明器具LED化工事	10,695	
R4	本庁舎電気室改修工事	33,252	
R5	本庁舎電気室改修工事	33,252	
R6	本庁舎電気室改修工事	33,252	
R7			
R8			
合 計		163,064	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	7,190	11,739	
支 出 額	166,735	253,071	
差 引	▲ 159,545	▲ 241,332	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	60,818	59,154	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	川内庁舎	延床面積	3,053.72 m ²
所在地	むつ市川内町川内477番地	建設年	2004年（平成16年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	有
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約120m
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・空調設備不調

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	行政サービスの提供の場として多くの利用者があることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のため定期的なメンテナンス及び修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4	空調設備改修設計	8,580	
R5	空調設備改修工事	85,800	
R6			
R7			
R8			
合 計		94,380	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	792	928	
支出額	21,508	21,661	
差 引	▲ 20,716	▲ 20,733	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	3,132	2,823	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	大畑庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	大畑庁舎	延床面積	1,483.75 m ²
所在地	むつ市大畑町伊勢堂1番地1	建設年	2020年（令和2年）
複合施設名	大畑小学校	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約350m
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

良好

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	行政サービスのほか、多世代交流スペースや地域活動の拠点として利用可能な貸室機能を持つ多機能複合施設であることから、良好な状態で維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のため定期的なメンテナンス及び修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	1,327	846	
支出額	24,111	21,665	
差 引	▲ 22,784	▲ 20,819	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	5,734	5,398	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	脇野沢庁舎管理課
-------	----------

1 施設の概要

施設名	脇野沢庁舎	延床面積	771.86 m ²
所在地	むつ市脇野沢渡向107番地1	建設年	2006年（平成18年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、バス停有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・非常灯バッテリー交換必要・電話機交換必要 ・非常用予備バッテリー及び無線放送室バッテリー交換必要
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	行政サービスの提供の場として多くの利用者があることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	305	305	
支出額	16,140	16,280	
差引	▲ 15,835	▲ 15,975	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	1,372	1,135	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	二又地区小規模水道施設	延床面積	12.96 m ²
所在地	むつ市大字奥内字二又18番地3	建設年	1983年（昭和58年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

冬期間の設備凍結による水の供給停止あり（年1，2回）

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	二又地区の住民へ水を供給する施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	2,343	507	
差 引	▲ 2,343	▲ 507	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	金谷沢第2地区小規模水道施設	延床面積	12.20 m ²
所在地	むつ市大字奥内字金谷沢553番地	建設年	1994年（平成6年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	金谷沢地区の住民へ水を供給する施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	999	438	
差 引	▲ 999	▲ 438	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	宮後小規模水道施設	延床面積	11.25 m ²
所在地	むつ市大字田名部字宮ノ後地内	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	宮後地区の住民へ水を供給する施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	543	
差引	0	▲ 543	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	第3石蔵平小規模水道施設	延床面積	11.25 m ²
所在地	むつ市大字奥内字二又道地内	建設年	1988年（昭和63年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	石蔵平地区の住民へ水を供給する施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	482	
差引	0	▲482	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	管財課
-------	-----

1 施設の概要

施設名	本庁舎車庫	延床面積	244.80 m ²
所在地	むつ市中央一丁目167番地4	建設年	2016年（平成28年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	多数の公用車の車庫として使用していることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	1,534	183	
差 引	▲ 1,534	▲ 183	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	川内第二車庫	延床面積	1,384.62 m ²
所在地	むつ市川内町熊ヶ平154番地1	建設年	1979年（昭和54年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	公用車の車庫として使用しており、今後も必要な施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	76	1,253	
差 引	▲ 76	▲ 1,253	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧川内町第二庁舎（倉庫）	延床面積	251.52 m ²
所在地	むつ市川内町川内435番地2	建設年	1965年（昭和40年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 再検討
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	倉庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧林業研修集会施設（倉庫）	延床面積	315.90 m ²
所在地	むつ市川内町獅子畑128番地1の内	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	倉庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 都市計画課

1 施設の概要

施設名	かわうちまりんびーち艇庫	延床面積	74.52 m ²
所在地	むつ市川内町砂浜地先	建設年	2004年（平成16年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約350m
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	海と森ふれあい体験館	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ修繕が必要な箇所はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	海と森ふれあい体験館の事業で使用している船艇を保管していることから、所管調整を行い、利活用する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	65	108	まりんびーち全体
支出額	5,558	5,750	まりんびーち全体
差 引	▲ 5,493	▲ 5,642	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	808	1,841	まりんびーち全体

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	脇野沢庁舎管理課
-------	----------

1 施設の概要

施設名	旧滝山小学校（倉庫）	延床面積	1,488.29 m ²
所在地	むつ市脇野沢滝山315番地1	建設年	1979年（昭和54年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	倉庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	83	83	
差引	▲83	▲83	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	脇野沢庁舎管理課
-------	----------

1 施設の概要

施設名	脇野沢庁舎桂沢倉庫	延床面積	353.19 m ²
所在地	むつ市脇野沢桂沢71番地4	建設年	1954年（昭和29年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	倉庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	脇野沢庁舎管理課
-------	----------

1 施設の概要

施設名	旧ライブラリー活動センター（倉庫）	延床面積	44.70 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引201番地7	建設年	1988年（昭和63年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 再検討
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	倉庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	脇野沢庁舎管理課
-------	----------

1 施設の概要

施設名	旧木材工芸センター（倉庫）	延床面積	354.27 m ²
所在地	むつ市脇野沢源藤城434番地	建設年	1987年（昭和62年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	倉庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	旧小沢小学校（教育委員会倉庫）	延 床 面 積	3,592.80 m ²
所 在 地	むつ市脇野沢小サ沢1番地9	建 設 年	1975年（昭和50年）
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	31年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	廃止施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス 建 物	廃止済 再検討
利 活 用 方 針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	倉庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	動物処分所	延床面積	36.14 m ²
所在地	むつ市大字奥内字二又道1番地66	建設年	1980年（昭和55年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	罾等の保管庫として利用しているが、今後も処分所として利用の可能性があることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	3	3	
差 引	▲ 3	▲ 3	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	二枚橋地区地域防災広場	延床面積	50.00 m ²
所在地	むつ市大畑町釣屋浜22番地37	建設年	2003年（平成15年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	地震による津波から人命を守るために整備し、緊急避難場所として指定されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	292	458	
差 引	▲ 292	▲ 458	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第5分団屯所	延床面積	58.32 m ²
所在地	むつ市文京町10番31号	建設年	1986年（昭和61年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	22	25	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第8分団屯所	延床面積	149.04 m ²
所在地	むつ市川守町9番10号	建設年	1980年（昭和55年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差 引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	22	22	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第9分団屯所	延床面積	91.92 m ²
所在地	むつ市宇田町9番2号	建設年	1980年（昭和55年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	24	19	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第10分団屯所	延床面積	117.45 m ²
所在地	むつ市大字奥内字近川8番地285	建設年	1987年（昭和62年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	16	15	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第11分団屯所	延床面積	58.32 m ²
所在地	むつ市大字奥内字奥内90番地	建設年	1983年（昭和58年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	22	25	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第12分団屯所	延床面積	66.23 m ²
所在地	むつ市大字奥内字浜奥内14番地2	建設年	1991年（平成3年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

軒部分の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	16	16	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第13分団屯所	延床面積	59.13 m ²
所在地	むつ市大字中野沢字小川40番地190	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	22	19	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第14分団屯所	延床面積	58.32 m ²
所在地	むつ市大字関根字北関根102番地10	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	22	23	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第15分団屯所	延床面積	59.92 m ²
所在地	むつ市大字関根字北関根313番地61	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・赤色灯光量不足

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	19	19	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第16分団屯所	延床面積	44.95 m ²
所在地	むつ市大字関根字川代57番地1	建設年	1979年（昭和54年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	20	20	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第17分団屯所	延床面積	58.32 m ²
所在地	むつ市大字関根字前浜2番地1	建設年	1982年（昭和57年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	20	20	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第18分団屯所	延床面積	58.32 m ²
所在地	むつ市大字城ヶ沢字城ヶ沢61番地4	建設年	1983年（昭和58年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	17	17	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第19分団屯所	延床面積	59.13 m ²
所在地	むつ市大字城ヶ沢字狐森43番地	建設年	1983年（昭和58年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	11	8	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ消防団第20分団屯所	延床面積	58.32 m ²
所在地	むつ市大字城ヶ沢字浜田22番地1	建設年	1984年（昭和59年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	54,598	53,619	むつ市消防団むつ消防団分
差引	▲ 54,598	▲ 53,619	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	16	15	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第2分団屯所	延床面積	79.48 m ²
所在地	むつ市川内町松川代17番地2	建設年	1982年（昭和57年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター、シャッターBOX錆あり・換気扇破損 ・外壁の割れ・ホース乾燥塔滑車不良・屋根塗装必要
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	25	25	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第3分団屯所	延床面積	79.48 m ²
所在地	むつ市川内町宿野部106番地7	建設年	1982年（昭和57年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター開閉不調 ・屋根塗装必要

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	17	17	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第4分団屯所	延床面積	79.48 m ²
所在地	むつ市川内町蛸崎48番地1	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・シャッター錆あり・ホース乾燥塔滑車不調・屋根塗装必要

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差 引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	22	21	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第5分団屯所	延床面積	79.48 m ²
所在地	むつ市川内町銀杏平23番地9	建設年	1982年（昭和57年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・シャッターBOX錆あり・ホース乾燥塔滑車不調・屋根塗装必要

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	25	23	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第6分団屯所	延床面積	79.48 m ²
所在地	むつ市川内町上小倉平205番地2	建設年	1984年（昭和59年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター錆あり・ホース乾燥塔滑車不調 ・屋根塗装必要・外壁数ヶ所破損

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	18	17	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第7分団屯所	延床面積	79.48 m ²
所在地	むつ市川内町家ノ辺100番地130	建設年	1983年（昭和58年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター錆あり・ホース乾燥塔滑車不調 ・屋根塗装必要・シャッター取手なし

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差 引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	18	17	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第9分団屯所	延床面積	69.65 m ²
所在地	むつ市川内町川代93番地1	建設年	1982年（昭和57年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・ホース乾燥塔滑車不調 ・屋根塗装必要
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	13	13	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第10分団屯所	延床面積	33.12 m ²
所在地	むつ市川内町下小倉平98番地	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター上部錆あり・ホース乾燥塔滑車不調・屋根塗装必要 ・シャッター取手破損・シャッター下スラット変形あり・外壁腐食破損

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差 引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	7	6	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第1分団屯所	延床面積	59.62 m ²
所在地	むつ市川内町田野沢169番地1	建設年	1991年（平成3年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・シャッター錆あり・ホース乾燥塔滑車不調・屋根塗装必要

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	29	29	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第12分団屯所	延床面積	76.18 m ²
所在地	むつ市川内町湯野川53番地2	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター開閉不調・ホース乾燥塔滑車不調・屋根塗装必要 ・網戸破損・外壁腐食破損
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	17	16	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第13分団屯所	延床面積	33.12 m ²
所在地	むつ市川内町袋川103番地80	建設年	1988年（昭和63年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・シャッター、扉錆あり・ホース乾燥塔滑車不調・屋根塗装必要

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	13,886	12,214	むつ市消防団川内消防団分
差引	▲ 13,886	▲ 12,214	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	10	8	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大畑消防団第3分団屯所	延床面積	39.60 m ²
所在地	むつ市大畑町正津川平87番地10	建設年	1976年（昭和51年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	12,491	12,128	むつ市消防団大畑消防団分
差引	▲ 12,491	▲ 12,128	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	20	20	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大畑消防団第4分団屯所	延床面積	26.49 m ²
所在地	むつ市大畑町佐助川26番地12	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、土石流（警戒区域）、津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	12,491	12,128	むつ市消防団大畑消防団分
差引	▲ 12,491	▲ 12,128	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	7	6	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大畑消防団第5分団屯所	延床面積	45.36 m ²
所在地	むつ市大畑町釣屋浜16番地13	建設年	1980年（昭和55年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、土石流（警戒区域）、津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・車庫シャッターケース座板受止め板腐食破損 ・シャッター中柱上部受止め部分腐食取付不良
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 再検討
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少と建物の老朽化が進行していることから、大畑消防団第8分団と集約をすすめる。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	12,491	12,128	むつ市消防団大畑消防団分
差 引	▲ 12,491	▲ 12,128	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	15	16	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大畑消防団第6分団屯所	延床面積	26.49 m ²
所在地	むつ市大畑町小目名村54番地5	建設年	1982年（昭和57年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・シャッター開閉不調

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	12,491	12,128	むつ市消防団大畑消防団分
差 引	▲ 12,491	▲ 12,128	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	9	9	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大畑消防団第7分団屯所	延床面積	22.63 m ²
所在地	むつ市大畑町関根橋43番地	建設年	1982年（昭和57年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	12,491	12,128	むつ市消防団大畑消防団分
差引	▲ 12,491	▲ 12,128	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	15	15	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大畑消防団第8分団屯所	延床面積	38.00 m ²
所在地	むつ市大畑町赤川村17番地1	建設年	1975年（昭和50年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・車庫雨漏り

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少と建物の老朽化が進行していることから、大畑消防団第5分団と集約をすすめる。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	12,491	12,128	むつ市消防団大畑消防団分
差引	▲ 12,491	▲ 12,128	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	10	9	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大畑消防団第9分団屯所	延床面積	59.62 m ²
所在地	むつ市大畑町孫次郎間40番地	建設年	1978年（昭和53年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	12,491	12,128	むつ市消防団大畑消防団分
差引	▲ 12,491	▲ 12,128	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	20	18	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大畑消防団第10分団屯所	延床面積	34.04 m ²
所在地	むつ市大畑町上野96番地35	建設年	1984年（昭和59年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	12,491	12,128	むつ市消防団大畑消防団分
差引	▲ 12,491	▲ 12,128	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	14	15	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢消防団第1分団屯所	延床面積	80.32 m ²
所在地	むつ市脇野沢本村33番地1	建設年	1976年（昭和51年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・屋根腐食 ・外壁塗装劣化
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	10,198	9,072	むつ市消防団脇野沢消防団分
差引	▲ 10,198	▲ 9,072	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	22	21	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢消防団第2分団屯所	延床面積	69.56 m ²
所在地	むつ市脇野沢鹿間平104番地2	建設年	1977年（昭和52年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・屋根トタン腐食 ・外壁錆あり
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	10,198	9,072	むつ市消防団脇野沢消防団分
差 引	▲ 10,198	▲ 9,072	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	13	12	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢消防団第3分団屯所	延床面積	67.30 m ²
所在地	むつ市脇野沢瀬野川目72番地	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・正面外壁穿孔あり ・外壁塗装劣化
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	10,198	9,072	むつ市消防団脇野沢消防団分
差引	▲ 10,198	▲ 9,072	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	17	8	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢消防団第3分団第2班屯所	延床面積	37.22 m ²
所在地	むつ市脇野沢新井田12番地	建設年	1978年（昭和53年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・正面資器材搬入口腐食 ・外壁塗装錆あり

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	10,198	9,072	むつ市消防団脇野沢消防団分
差引	▲ 10,198	▲ 9,072	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	0	8	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢消防団第4分団屯所	延床面積	64.59 m ²
所在地	むつ市脇野沢寄浪20番地3	建設年	1978年（昭和53年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・屋根トタン腐食 ・外壁塗装劣化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	10,198	9,072	むつ市消防団脇野沢消防団分
差引	▲ 10,198	▲ 9,072	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	7	7	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢消防団第5分団第2班屯所	延床面積	64.80 m ²
所在地	むつ市脇野沢九艘泊56番地1	建設年	1980年（昭和55年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・正面外壁穿孔あり・外壁塗装劣化・正面上部団名標識欠損

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	10,198	9,072	むつ市消防団脇野沢消防団分
差引	▲ 10,198	▲ 9,072	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	1	7	消防団員数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢消防団第5分団屯所（旧第8分団屯所）	延床面積	59.62 m ²
所在地	むつ市脇野沢蛸田134番地1	建設年	1983年（昭和58年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・シャッター錆あり

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	10,198	9,072	むつ市消防団脇野沢消防団分
差引	▲ 10,198	▲ 9,072	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	7	7	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢消防団第6分団屯所	延床面積	67.33 m ²
所在地	むつ市脇野沢滝山76番地1	建設年	1979年（昭和54年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・屋根トタン腐食 ・外壁塗装劣化、錆あり

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	10,198	9,072	むつ市消防団脇野沢消防団分
差 引	▲ 10,198	▲ 9,072	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	13	13	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢消防団第7分団屯所	延床面積	66.25 m ²
所在地	むつ市脇野沢源藤城77番地3	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・外壁塗装劣化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	むつ市消防ビジョンに基づき、集約・再編を進める。消防団員の減少が課題であるが、地域の防災拠点と位置付けられていることから、管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、むつ市消防ビジョンに基づいた集約・再編の決定まで、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	10,198	9,072	むつ市消防団脇野沢消防団分
差引	▲ 10,198	▲ 9,072	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	11	9	消防団員数

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ水防倉庫	延床面積	26.00 m ²
所在地	むつ市大湊浜町36番25号	建設年	1982年 (昭和57年)
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 再検討
利活用方針	廃止	
利活用方針の考え方	水防用資機材の保管場所として使用している。大湊消防署敷地内へ移転を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、移転まで適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	0	0	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内消防団第2車庫	延床面積	104.35 m ²
所在地	むつ市川内町川内75番地	建設年	1984年（昭和59年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	むつ市消防ビジョン
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター錆あり ・柱下部腐食及び穴あり
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	水槽車や消防車両の車庫として使用していることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	0	0	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	一般廃棄物最終処分場	延床面積	679.39 m ²
所在地	むつ市大字奥内字二又道75番地2	建設年	1991年（平成3年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特 性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

トラックスケールの経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	廃棄物処理業務に必要な施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4	トラックスケール改修工事	4,185	
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		4,185	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	32,728	32,088	
差 引	▲ 32,728	▲ 32,088	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内一般廃棄物最終処分場	延床面積	160.00 m ²
所在地	むつ市川内町家ノ上103番地343	建設年	1991年（平成3年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

法面の一部崩落により、埋立地及び側溝へ土砂流入が見られる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	行政サービスの継続
	建築物	廃止・解体
利活用方針	廃止	
利活用方針の考え方	令和3年度用途廃止に向けて水質等の経過観察中。廃止後は解体を進める。	
管理に関する実施方針	用途廃止に向けて必要な業務を実施しながら、廃止まで適正に管理する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	法面崩落部分の土砂の撤去	3,000	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		3,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	79	81	
支 出 額	3,713	7,297	
差 引	▲ 3,634	▲ 7,216	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大畑一般廃棄物最終処分場	延床面積	402.71 m ²
所在地	むつ市大畑町水木沢206番地	建設年	1993年（平成5年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	廃棄物処理業務に必要な施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	14,066	17,146	
差 引	▲ 14,066	▲ 17,146	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢一般廃棄物最終処分場	延床面積	191.05 m ²
所在地	むつ市脇野沢辰内26番地117	建設年	1989年（平成1年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

側溝に損傷が見られる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 廃止・解体
利活用方針	廃止	
利活用方針の考え方	令和3年度用途廃止に向けて水質等の経過観察中。廃止後は解体を進める。	
管理に関する実施方針	用途廃止に向けて必要な業務を実施しながら、廃止まで適正に管理する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	敷地内道路・側溝修繕	3,333	
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		3,333	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	5,193	5,802	
差引	▲ 5,193	▲ 5,802	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎市民生活課
-------	-----------

1 施設の概要

施 設 名	上町排水ポンプ場	延 床 面 積	81.20 m ²
所 在 地	むつ市川内町川内433番地2	建 設 年	1974年 (昭和49年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	15年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	縮減施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・発電機用バッテリー交換必要

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス 建 物	行政サービスの継続 維持
利 活 用 方 針	存 続	
利活用方針の考え方	道路排水等を自然排水できないため常時稼働しており、また大雨時の排水しきれない場合及び停電時に稼働する専用ポンプも設置されていることから、機能維持を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	1,938	2,486	
差 引	▲ 1,938	▲ 2,486	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 都市計画課

1 施設の概要

施設名	宇田運動広場	延床面積	4.90 m ²
所在地	むつ市宇田町207番3	建設年	1988年（昭和63年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	最寄のバス停から約220m
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

トイレの老朽化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	集約化・複合化・多機能化 建替
利活用方針	転用	
利活用方針の考え方	運動広場としての機能は廃止し、児童公園と集約を行う。また、本市ならではの自衛隊艦艇を望める景観スポットとして、タクシープール、駐車場及びトイレ等の整備を行う。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕等を実施しながら、方向性が決まるまで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4	公園ストック再編事業	20,000	
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		20,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	128	222	
差 引	▲ 128	▲ 222	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 都市計画課

1 施設の概要

施設名	川内町ふれあい広場	延床面積	64.80 m ²
所在地	むつ市川内町中道129番地7	建設年	1984年（昭和59年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約500m
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 廃止・解体
利活用方針	廃止	
利活用方針の考え方	トイレを含む管理施設や広場はほぼ利用されておらず、今後も利用者の減少が予測されることから、廃止を進める。	
管理に関する実施方針	廃止まで、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	194	196	
差 引	▲ 194	▲ 196	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	森林公園	延床面積	16.52 m ²
所在地	むつ市川内町家ノ辺107番地	建設年	1996年（平成8年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	利用者が少ないことから、廃止に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、方向性が決まるまで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	産業雇用政策課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	商店街ゆとりの広場	延床面積	31.36 m ²
所在地	むつ市大畑町新町19番地	建設年	1996年（平成8年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項	(株)みちのく銀行からの借受地	構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	洪水浸水、津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	最寄バス停から約40m
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・ペンキの剥がれ及び金属部分に錆び

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	大畑地区商店街内に位置しており、町の憩いの場としての機能を有し、コミュニティ形成において必要な施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	435	510	
差 引	▲ 435	▲ 510	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	大安寺やすらぎの森公園	延床面積	54.65 m ²
所在地	むつ市大畑町本町地内	建設年	1996年（平成8年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	コミュニティ活動や、健康増進の拠点として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	168	155	
差引	▲168	▲155	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	愛宕山公園	延床面積	12.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢瀬野川目1番地	建設年	2012年（平成24年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	桜の名所とされ、地域住民の憩いの場として活用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	269	1,531	
差引	▲ 269	▲ 1,531	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	牛の首農村公園	延床面積	67.93 m ²
所在地	むつ市脇野沢新井田94番地	建設年	1998年（平成10年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	地域住民の憩いの場として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	447	648	
差 引	▲ 447	▲ 648	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	漁村広場	延床面積	144.48 m ²
所在地	むつ市脇野沢瀬野川目280番地	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	周辺地域の方の利用があることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	415	434	
差引	▲415	▲434	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	大畑庁舎市民生活課
-------	-----------

1 施設の概要

施設名	大畑駅前駐輪場	延床面積	95.04 m ²
所在地	むつ市大畑町庚申堂49番地12	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はないが、柱に錆びなど経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	利用者数は減少傾向にあり、老朽化が進んでいるが、使用にあたっては問題はないことから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	むつ市斎場	延床面積	337.74 m ²
所在地	むつ市美里町11番3号	建設年	1978年（昭和53年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市民生活に必要な施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のため定期的なメンテナンス及び修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3	炉の定期メンテナンス及び修繕	3,902	
R4	炉の定期メンテナンス及び修繕	6,660	
R5	炉の定期メンテナンス及び修繕	3,448	
R6	炉の定期メンテナンス及び修繕	3,886	
R7	炉の定期メンテナンス及び修繕	4,240	
R8	炉の定期メンテナンス及び修繕	3,470	
合 計		25,606	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	6,174	6,175	
支 出 額	11,225	21,545	
差 引	▲ 5,051	▲ 15,370	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	587	567	火葬件数

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	川内斎場	延床面積	575.06 m ²
所在地	むつ市川内町板子塚59番地34	建設年	1997年（平成9年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・空調設備一部不調

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市民生活に必要な施設であり、市内唯一ペット火葬ができる施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のため定期的なメンテナンス及び修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3	炉の定期メンテナンス及び修繕	3,182	
R4	炉の定期メンテナンス及び修繕	5,533	
R5	炉の定期メンテナンス及び修繕	4,840	
R6	炉の定期メンテナンス及び修繕	5,060	
R7	炉の定期メンテナンス及び修繕	6,820	
R8	炉の定期メンテナンス及び修繕	5,192	
	合 計	30,627	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	2,142	2,301	
支 出 額	8,254	10,974	
差 引	▲ 6,112	▲ 8,673	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	368	391	火葬件数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大畑斎場	延床面積	373.67 m ²
所在地	むつ市大畑町正津川戦敷1番地186	建設年	1994年（平成6年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・灯油タンク経年劣化

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市民生活に必要な施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のため定期的なメンテナンス及び修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	定期の炉のメンテナンス	3,041	
R4	定期の炉のメンテナンス	2,475	
R5	定期の炉のメンテナンス	4,840	
R6	定期の炉のメンテナンス	4,917	
R7	定期の炉のメンテナンス	4,070	
R8	定期の炉のメンテナンス	4,400	
合 計		23,743	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	1,166	1,290	
支 出 額	6,835	5,479	
差 引	▲ 5,669	▲ 4,189	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	135	163	火葬件数

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	脇野沢斎場	延床面積	322.41 m ²
所在地	むつ市脇野沢渡向264番地22	建設年	1991年（平成3年）
複合施設名	—	耐用年数	50年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	継続活用施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,477人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

・屋根雨漏り

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市民生活に必要な施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のため定期的なメンテナンス及び修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3	炉の定期メンテナンス及び修繕	1,010	
R4	炉の定期メンテナンス及び修繕	495	
R5	炉の定期メンテナンス及び修繕	2,530	
R6	炉の定期メンテナンス及び修繕	407	
R7	炉の定期メンテナンス及び修繕	110	
R8	炉の定期メンテナンス及び修繕	550	
	合 計	5,102	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	370	280	
支 出 額	4,093	2,975	
差 引	▲ 3,723	▲ 2,695	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	41	28	火葬件数

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	墓地公園	延床面積	143.19 m ²
所在地	むつ市大字田名部字二又川目41番地70	建設年	1979年 (昭和54年)
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	建物性能改善施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

管理棟及び施設内トイレの経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市民が安心して利用できる公営墓地として、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5	区画整備、景観整備	7,583	
R6			
R7			
R8			
合 計		7,583	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	6,100	3,874	
支出額	5,720	13,194	
差引	380	▲ 9,320	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	1,775	1,829	区画数

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大湊新町公衆トイレ	延床面積	18.92 m ²
所在地	むつ市大湊新町190番地	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	周辺地域の方や観光シーズンに多く利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	805	629	
差 引	▲ 805	▲ 629	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	田名部地区公衆トイレ	延床面積	25.80 m ²
所在地	むつ市田名部町87番地外	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	田名部神社周辺の飲食店利用客や観光客に多く利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	862	440	
差引	▲ 862	▲ 440	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	本町公衆トイレ	延床面積	12.42 m ²
所在地	むつ市本町地内	建設年	1989年（平成1年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	繁華街に位置し、観光シーズンに多く利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	3	
支 出 額	458	440	
差 引	▲ 458	▲ 437	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	大湊浜町公衆トイレ	延床面積	4.90 m ²
所在地	むつ市大湊浜町425番地	建設年	1967年（昭和42年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	利用者が限られるため、町内会と協議を図り、譲渡もしくは廃止に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕を実施しながら、譲渡または廃止まで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	33	100	
差引	▲33	▲100	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	冷水公衆トイレ	延床面積	28.70 m ²
所在地	むつ市大字田名部字矢立山地内	建設年	1993年（平成5年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	不明
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市内から恐山や釜釜山展望台までの間に公衆トイレがないことから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	671	
差引	0	▲671	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	都市計画課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	下北駅前広場トイレ	延床面積	28.83 m ²
所在地	むつ市下北町地内	建設年	2009年（平成21年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ修繕が必要な箇所はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	下北駅を利用する市民や観光客の利便性向上を図るため、良好な状態での維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	104	125	
支出額	2,276	2,276	
差引	▲ 2,172	▲ 2,151	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	土木維持課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	田名部川公衆トイレ	延床面積	10.09 m ²
所在地	むつ市緑町11番地	建設年	2012年（平成24年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	田名部川は市民憩いの場となっており、多くの市民が利用していることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	320	333	
差 引	▲ 320	▲ 333	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

1 施設の概要

施設名	湯野川公衆トイレ	延床面積	32.58 m ²
所在地	むつ市川内町湯野川53番地2	建設年	1992年（平成4年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ修繕が必要な箇所はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 廃止・解体
利活用方針	廃止	
利活用方針の考え方	庁内等で利活用の提案があれば担当部署へ所管替えを行い、なければ廃止を進める。	
管理に関する実施方針	廃止まで、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	575	576	
差 引	▲ 575	▲ 576	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	湯坂下公衆トイレ	延床面積	9.79 m ²
所在地	むつ市大畑町湯坂下104番地	建設年	1979年（昭和54年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	老朽化が著しく、利用者も減少傾向にあることから、廃止に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕を実施しながら、廃止まで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	138	120	
差引	▲138	▲120	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	湊公衆トイレ	延床面積	5.56 m ²
所在地	むつ市大畑町中島4番地9	建設年	1969年（昭和44年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	廃止に向け検討	
利活用方針の考え方	老朽化が著しく、利用者も減少傾向にあることから、廃止に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕を実施しながら、廃止まで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	43	95	
差引	▲43	▲95	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	新漁港公衆トイレ	延床面積	10.00 m ²
所在地	むつ市大畑町湊村地内	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 建替
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいが、周辺は、地域コミュニティ活動やイベント等が多く開催される場所であり、今後も必要な施設と考えられることから、建替えの検討を進める。	
管理に関する実施方針	必要とする修繕を実施しながら、方向性が決まるまで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	129	114	
差引	▲129	▲114	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	小目名公衆トイレ	延床面積	9.67 m ²
所在地	むつ市大畑町小目名家ノ下地先	建設年	1999年（平成11年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	周辺地域の方や観光シーズンに利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	179	259	
差 引	▲ 179	▲ 259	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	正津川漁港トイレ	延床面積	14.60 m ²
所在地	むつ市大畑町正津川地内	建設年	1998年（平成10年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	漁港利用者、漁業者の利用があることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	194	196	
差 引	▲ 194	▲ 196	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	貝崎園地トイレ	延床面積	20.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢九艘泊地内	建設年	1984年（昭和59年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	不適合（使用されていない）
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

施設へは、途中から車が進入できない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建築物	廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	現在使用を休止しているが、特に苦情等はない。施設へは途中から車が進入ができないため、解体方法の検討を進めながら、定期的な見回りを続ける。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	九艘泊地区公衆トイレ	延床面積	40.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢九艘泊439番地	建設年	1992年（平成4年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	縮減施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの再検討 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	九艘泊地区の観光客に利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	99	86	
差 引	▲ 99	▲ 86	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	川内楯木教員住宅	延床面積	963.40 m ²
所在地	むつ市川内町楯木180番地16	建設年	2001年（平成13年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約400m
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ修繕が必要な箇所はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	教員住宅として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	1,078	2,596	
支出額	87	386	
差引	991	2,210	

(単位：世帯)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	5	3	年度末利用世帯数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	脇野沢小学校教員住宅	延床面積	339.42 m ²
所在地	むつ市脇野沢渡向100番地1	建設年	2002年（平成14年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約200m
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ修繕が必要な箇所はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	教員住宅として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	1,027	945	
支出額	297	242	
差引	730	703	

(単位：世帯)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	3	5	年度末利用世帯数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	脇野沢中学校教員住宅	延床面積	339.42 m ²
所在地	むつ市脇野沢渡向100番地1	建設年	2002年（平成14年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	適合
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	駐車場有、最寄バス停から約200m
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ修繕が必要な箇所はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	行政サービスの継続 維持
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	教員住宅として利用されていることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	930	916	
支出額	5	30	
差引	925	886	

(単位：世帯)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	4	4	年度末利用世帯数

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	旧金谷沢小学校	延 床 面 積	665.24 m ²
所 在 地	むつ市大字奥内字金谷沢1番地28	建 設 年	1949年 (昭和24年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	22年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	廃止施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	一部町内会

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス 建 物	廃止済 廃止・解体
利 活 用 方 針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	文書及び備品の保管庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	54	54	電気料、水道料
差 引	▲ 54	▲ 54	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	旧中野沢小学校	延 床 面 積	713.00 m ²
所 在 地	むつ市大字中野沢字上山道8番地178	建 設 年	1988年（昭和63年）
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	34年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	廃止施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	体育館開放	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス 建 物	廃止済 再検討
利 活 用 方 針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	体育館開放を継続し、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	113	96	電気料
差 引	▲ 113	▲ 96	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧城ヶ沢小学校	延床面積	1,679.00 m ²
所在地	むつ市大字城ヶ沢字畑下丁塚1番地1	建設年	1973年（昭和48年）
複合施設名	—	耐用年数	47年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	一部町内会

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	文書及び備品の保管庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	248	249	電気料
差引	▲ 248	▲ 249	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	旧角違小中学校	延 床 面 積	1,742.00 m ²
所 在 地	むつ市大字城ヶ沢字流道14番地60	建 設 年	1965年（昭和40年）
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	22年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	解体予定施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス 建 物	廃止済 民間移譲
利 活 用 方 針	譲渡	
利活用方針の考え方	市有財産利活用民間提案制度による利活用提案を採用し、譲渡とする。	
管理に関する実施方針	譲渡完了まで、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	旧烏沢小学校	延 床 面 積	1,746.00 m ²
所 在 地	むつ市大字関根字安畑49番地1	建 設 年	1959年（昭和34年）
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	22年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・2階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	解体予定施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	廃止済
	建 物	廃止・解体
利 活 用 方 針	解体	
利活用方針の考え方	文書及び備品の保管庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	17	17	電気料
差 引	▲ 17	▲ 17	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧第一川内小学校	延床面積	4,334.00 m ²
所在地	むつ市川内町熊ヶ平1番地3	建設年	1968年（昭和43年）
複合施設名	—	耐用年数	47年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	文書及び備品の保管庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	8	8	電気料
差引	▲8	▲8	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧第二川内小学校	延床面積	1,757.00 m ²
所在地	むつ市川内町立越4番地17	建設年	1965年（昭和40年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4	解体設計	5,980	
R5	解体工事	56,472	
R6			
R7			
R8			
合 計		62,452	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	8	8	電気料
差引	▲8	▲8	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧松川小学校	延床面積	2,383.00 m ²
所在地	むつ市川内町松川川代225番地1	建設年	1995年（平成7年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	一部町内会

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 再検討
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	文書及び備品の保管庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	12	12	電気料
差引	▲12	▲12	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	旧宿野部小学校	延 床 面 積	1,995.00 m ²
所 在 地	むつ市川内町宿野部榎木平56番地13	建 設 年	1966年（昭和41年）
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	22年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・2階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	解体予定施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	廃止済
	建 物	廃止・解体
利 活 用 方 針	解体	
利活用方針の考え方	文書及び備品の保管庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	26	26	電気料
差 引	▲ 26	▲ 26	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	旧蛸崎小学校	延 床 面 積	1,313.00 m ²
所 在 地	むつ市川内町蛸崎合野74番地1	建 設 年	1962年（昭和37年）
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	22年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	解体予定施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	廃止済
	建 物	廃止・解体
利 活 用 方 針	解体	
利活用方針の考え方	文書及び備品の保管庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	18	18	電気料
差 引	▲ 18	▲ 18	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧畑小学校	延床面積	1,319.00 m ²
所在地	むつ市川内町家ノ辺100番地87	建設年	1975年（昭和50年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要		

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建築物	廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が進んでいることから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	旧小目名小学校	延 床 面 積	543.00 m ²
所 在 地	むつ市大畑町小目名家ノ下1番地1	建 設 年	1952年 (昭和27年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	22年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	解体予定施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス 建 物	廃止済 再検討
利 活 用 方 針	解体	
利活用方針の考え方	町内会等による利活用を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	28	28	電気料
差 引	▲ 28	▲ 28	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧関根橋小学校	延床面積	583.00 m ²
所在地	むつ市大畑町正津川大畑道31番地4	建設年	1951年（昭和26年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	文書及び備品の保管庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	10	10	電気料
差引	▲10	▲10	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧佐助川小学校	延床面積	1,872.00 m ²
所在地	むつ市大畑町佐助川19番地1	建設年	1978年（昭和53年）
複合施設名	—	耐用年数	47年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）、土石流（警戒区域）、津波浸水
	緊急避難場所の指定	地震火災・浸水
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,661人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 再検討
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	下北自然の家による利活用を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	10	10	電気料
差引	▲10	▲10	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧脇野沢小学校	延床面積	3,308.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢桂沢71番地1	建設年	1968年（昭和43年）
複合施設名	—	耐用年数	47年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 再検討
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	地元町内会により活用されている。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	568	546	電気料（校舎・街路灯）、水道料
差引	▲568	▲546	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧関根中学校（機械室、更衣室）	延床面積	78.00 m ²
所在地	むつ市大字関根字北関根133番地1	建設年	1975年（昭和50年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項	令和元年度解体済	構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水・土砂災害
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要		

3 点検・診断等による施設の状態

校舎等は、令和元年度解体済み。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5	解体工事	2,730	市工事实績単価
R6			
R7			
R8			
合 計		2,730	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	2,454	891	電気料（校舎・ポンプ室）、水道料、灯油代
差引	▲2,454	▲891	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所管課 市民スポーツ課

1 施設の概要

施設名	旧かまふせビレッジ	延床面積	317.00 m ²
所在地	むつ市大字大湊字大川守44番地5	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	市有財産利活用民間提案制度等による利活用を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	旧於法岳スキー場	延床面積	33.12 m ²
所在地	むつ市川内町曾古部山2番地2	建設年	1996年（平成8年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	土石流（特別警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

・ヒュッテ未解体

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所管課	市民スポーツ課
-----	---------

1 施設の概要

施設名	旧兎沢スキー場	延床面積	215.33 m ²
所在地	むつ市大畑町兎沢地内	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

・ヒュッテ未解体

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	工作物は解体済。市有財産利活用民間提案制度等による利活用を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	90	79	
支出額	0	0	大畑中央公園に含む
差引	90	79	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	1,649	2,013	

作成日：令和3年3月31日

所管課 市民スポーツ課

1 施設の概要

施設名	旧脇野沢スキー場	延床面積	93.96 m ²
所在地	むつ市脇野沢七引204番地11	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

・ヒュッテ及び配線未解体

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	旧川内キャンプ場	延床面積	51.84 m ²
所在地	むつ市川内町家ノ辺107番地	建設年	1983年（昭和58年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	施設の保安・安全面から、管理棟等の解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	産業雇用政策課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧むつ職業能力開発校	延床面積	518.40 m ²
所在地	むつ市金谷一丁目17番55号	建設年	1974年（昭和49年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	貸付中	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しく、2階はタイルにヒビが入っており、使用されていない。
--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	貸付を行っているが、老朽化が進んでいることから、使用に支障が生じた場合は、貸付先と協議を図り、解体を進める。	
管理に関する実施方針	貸付先と調整を図りながら、解体まで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	産業雇用政策課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧勤労青少年ホーム	延床面積	921.64 m ²
所在地	むつ市大湊上町3番12号	建設年	1971年（昭和46年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	浸水
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<p>全体的に経年劣化が著しい。 PCBが含まれる機器は、令和3年度処分予定。</p>

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3	PCB含有機器撤去	1,803	
R4			
R5			
R6	解体設計	3,686	
R7	解体工事	36,866	市工事实績単価
R8			
合 計		42,355	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	31	25	
支出額	3,686	3,861	
差引	▲ 3,655	▲ 3,836	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	6,809	7,086	

所 管 課	観光戦略課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	旧川内木工センター	延床面積	101.99 m ²
所在地	むつ市川内町湯野川28番地3	建設年	1980年（昭和55年）
複合施設名	—	耐用年数	15年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	施設の保安・安全面から、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安・危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	旧川内町地区堆肥センター	延床面積	1,397.32 m ²
所在地	むつ市川内町家ノ上103番地2	建設年	1987年（昭和62年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	貸付中	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 民間移譲
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	民間移譲を含めた施設のあり方について、検討を進める。	
管理に関する実施方針	貸付先と調整を図りながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	41	0	
差引	▲41	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	旧野菜集荷貯蔵施設	延床面積	699.46 m ²
所在地	むつ市川内町褰川103番地80	建設年	1982年（昭和57年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	貸付中	

3 点検・診断等による施設の状態

現在のところ大きな問題はないが、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 民間移譲
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	貸付を行っているが、使用に支障が生じた場合は、貸付先と協議を図り、解体を進める。	
管理に関する実施方針	貸付先と調整を図りながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	旧さけ・ますふ化場	延床面積	496.00 m ²
所在地	むつ市大平町1079番1	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4	解体設計	4,264	
R5	解体工事	36,342	
R6			
R7			
R8			
合 計		40,606	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	大畑庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧特産物活性化センター	延床面積	172.24 m ²
所在地	むつ市大畑町湊村165番地8	建設年	1986年（昭和61年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	貸付中	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	貸付を行っている団体と協議を図り、解体に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	貸付団体と調整を図りながら、解体まで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	大畑庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧大畑町水産物加工場汚水共同処理施設	延床面積	1,792.43 m ²
所在地	むつ市大畑町烏谷場187番地4	建設年	1977年（昭和52年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	貸付中

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	貸付先にとって、加工場から排出された汚水処理する必要な施設であることから、維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	修繕等の費用は貸付先が負担することとなっている。貸付先と調整を図りながら、管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課 市民連携課

1 施設の概要

施設名	旧大畑町コミュニティセンター	延床面積	604.48 m ²
所在地	むつ市大畑町湊村165番地8	建設年	1977年（昭和52年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	地震火災・浸水・土砂災害
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	防災無線が繋がっているため、防災安全課と防災無線の見直しについて情報共有を行いながら、解体時期について検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	12	2	
支出額	821	790	
差引	▲ 809	▲ 788	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	2,085	1,829	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧脇野沢地区文化財収蔵庫（旧九艘泊小学校）	延床面積	1,560.51 m ²
所在地	むつ市脇野沢九艘泊110番地	建設年	1986年（昭和61年）
複合施設名	—	耐用年数	34年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・浸水
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	文書及び備品の保管庫として、できる限り使用する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	164	127	電気料
差 引	▲ 164	▲ 127	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	旧第一川内保育所	延床面積	972.54 m ²
所在地	むつ市川内町楯木38番地	建設年	1977年（昭和52年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建築物	廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	解体予定	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	子ども家庭課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	旧正津川児童館	延床面積	279.35 m ²
所在地	むつ市大畑町正津川平114番地64	建設年	1968年（昭和43年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	地震火災・浸水・土砂災害、津波浸水
	避難所の指定	浸水・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が進んでいることから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4	解体工事	5,610	
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計		5,610	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	243	168	
支 出 額	3,755	2,885	
差 引	▲ 3,512	▲ 2,717	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	2,256	2,404	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	子ども家庭課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	旧中島児童館	延床面積	582.12 m ²
所在地	むつ市大畑町中島72番地2	建設年	1995年（平成7年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項	敷地が広大であり、敷地内に中島児童公園が併設されている。	構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	地震火災・浸水・土砂災害
	避難所の指定	地震火災・浸水・土砂災害
	投票所の指定	有
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 転用
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	市有財産利活用民間提案制度等による利活用を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	997	1,037	
支 出 額	7,794	7,991	
差 引	▲ 6,797	▲ 6,954	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	15,022	13,592	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	子ども家庭課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	旧湯坂下児童館	延床面積	372.87 m ²
所在地	むつ市大畑町湯坂下9番地4	建設年	1996年（平成8年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	洪水浸水、津波浸水
	緊急避難場所の指定	地震火災・津波災害・土砂災害
	避難所の指定	地震火災・津波災害・土砂災害
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	市有財産利活用民間提案制度等による利活用を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	221	215	
差 引	▲ 221	▲ 215	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	施設経営戦略課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧大湊消防署用施設	延床面積	265.15 m ²
所在地	むつ市大湊浜町36番25号	建設年	1972年（昭和47年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 転用
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	市有財産利活用民間提案制度等による利活用を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	旧むつ消防団第6分団車庫	延床面積	27.59 m ²
所在地	むつ市大湊浜町36番25号	建設年	1994年（平成6年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 転用
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	庁内等から利活用の提案があれば、担当部署へ所管替えを行い、なければ解体に向け検討を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	防災安全課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	旧むつ消防団第7分団車庫	延床面積	27.59 m ²
所在地	むつ市大湊浜町36番25号	建設年	1995年（平成7年）
複合施設名	—	耐用年数	17年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 転用
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	庁内等から利活用の提案があれば、担当部署へ所管替えを行い、なければ解体に向け検討を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	旧川内清掃センター	延床面積	2,060.60 m ²
所在地	むつ市川内町川代13番地1	建設年	1990年（平成2年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋鉄骨コンクリート造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	ごみ分別作業場として利用中（新ごみ処理施設供用開始まで）

3 点検・診断等による施設の状態

<p>損傷が著しい。</p>

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	ごみ分別作業場として利用しているが、老朽化が著しいことから解体を進める。	
管理に関する実施方針	解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8	解体設計	14,148	
合計		14,148	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	327	248	
差引	▲ 327	▲ 248	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	旧大畑清掃センター	延床面積	1,193.83 m ²
所在地	むつ市大畑町水木沢204番地	建設年	1987年（昭和62年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	ごみ分別作業場として利用中（新ごみ処理施設供用開始まで）

3 点検・診断等による施設の状態

<p>損傷が著しい。</p>

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	ごみ分別作業場として利用しているが、老朽化が著しいことから解体を進める。	
管理に関する実施方針	解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6	解体設計	14,148	
R7	解体工事	100,000	
R8			
合 計		114,148	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	344	347	
差 引	▲ 344	▲ 347	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

所 管 課	環境政策課
-------	-------

1 施設の概要

施設名	旧脇野沢清掃センター	延床面積	821.34 m ²
所在地	むつ市脇野沢口広31番地	建設年	1994年（平成6年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

<p>損傷が著しい。</p>

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから解体を進める。	
管理に関する実施方針	解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4	解体設計	18,689	
R5	解体工事	100,000	
R6			
R7			
R8			
合 計		118,689	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	旧海づり公園	延床面積	178.86 m ²
所在地	むつ市脇野沢瀬野川目280番地	建設年	1989年（昭和64年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	貸付中

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 民間移譲
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	貸付を行っているが、使用に支障が生じた場合は、貸付先と協議を図り、解体を進める。	
管理に関する実施方針	貸付先と調整を図りながら、解体まで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	28	61	
支出額	96	90	
差引	▲ 68	▲ 29	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧城ヶ沢小学校教員住宅	延床面積	48.60 m ²
所在地	むつ市大字城ヶ沢字早崎14番地	建設年	1973年（昭和48年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧関根小学校教員住宅	延床面積	59.62 m ²
所在地	むつ市大字関根字北関根99番地2	建設年	1973年（昭和48年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧烏沢小学校教員住宅	延床面積	48.60 m ²
所在地	むつ市大字関根字安畑49番地1	建設年	1973年（昭和48年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧宿野部教員住宅	延床面積	51.03 m ²
所在地	むつ市川内町宿野部榎木平56番地422	建設年	1969年（昭和44年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	貸付中

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 民間移譲
利活用方針	譲渡	
利活用方針の考え方	貸付を行っている団体と協議を図り、譲渡に向けて検討を進める。	
管理に関する実施方針	貸付先と調整を図りながら、譲渡まで管理を継続する。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧上小倉平教員住宅	延床面積	213.84 m ²
所在地	むつ市川内町釜谷7番地11	建設年	1972年（昭和47年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	一部貸付中	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	4棟のうち1棟の貸付を行っているが、老朽化が著しいことから、未使用の建物から順次解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	38	38	
支 出 額	0	0	
差 引	38	38	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	1	1	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧松川教員住宅	延床面積	172.75 m ²
所在地	むつ市川内町松川川代72番地2	建設年	1970年（昭和45年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	急傾斜地（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	一部貸付中	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体に向け検討	
利活用方針の考え方	3棟のうち2棟貸付を行っているが、老朽化が著しいため、未使用の建物から順次解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	89	89	
支出額	0	0	
差引	89	89	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	2	2	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施 設 名	旧中道教員住宅	延 床 面 積	298.10 m ²
所 在 地	むつ市川内町中道104番地1	建 設 年	1979年（昭和54年）
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	47年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	鉄筋コンクリート造・2階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	解体予定施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	廃止済
	建 物	廃止・解体
利 活 用 方 針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	旧川内仲崎教員住宅	延 床 面 積	65.61 m ²
所 在 地	むつ市川内町休所42番地	建 設 年	1974年 (昭和49年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	22年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	解体予定施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	廃止済
	建 物	廃止・解体
利 活 用 方 針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧川内銀杏木校長住宅	延床面積	82.80 m ²
所在地	むつ市川内町銀杏平23番地2	建設年	2001年（平成13年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧川内桧川校長住宅	延床面積	65.61 m ²
所在地	むつ市川内町桧川川代72番地2	建設年	1973年（昭和48年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧川内宿野部校長住宅	延床面積	82.80 m ²
所在地	むつ市川内町宿野部榎木平56番地13	建設年	2003年（平成15年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建築物	廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	解体を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧川内蛎崎校長住宅	延床面積	82.80 m ²
所在地	むつ市川内町蛎崎寺ノ前148番地37	建設年	2001年（平成13年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

--

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建築物	廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	解体を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧蛸崎教員住宅	延床面積	65.61 m ²
所在地	むつ市川内町蛸崎寺ノ前1番地	建設年	1971年（昭和46年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建築物	廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が進んでいることから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧畑教員住宅	延床面積	69.56 m ²
所在地	むつ市川内町家ノ辺100番地137	建設年	1993年（平成5年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	土石流（警戒区域）
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建築物	廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が進んでいることから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧二枚橋小学校校長住宅	延床面積	52.00 m ²
所在地	むつ市大畑町釣屋浜22番地473	建設年	1971年（昭和46年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が進んでいることから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施 設 名	旧正津川小学校教員住宅	延 床 面 積	174.00 m ²
所 在 地	むつ市大畑町正津川平114番地64	建 設 年	1970年 (昭和45年)
複 合 施 設 名	—	耐 用 年 数	22年
特 記 事 項		構 造 ・ 階 数	木造・1階

2 施設評価

一 次 評 価	施 設 の 特 性	解体予定施設
二 次 評 価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災 害 の 危 険 性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避 難 所 の 指 定	—
	投 票 所 の 指 定	—
	交 通 の 利 便 性	—
	施 設 周 辺 の 人 口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外 部 か ら の 需 要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利 活 用 の 方 向 性	行政サービス	廃止済
	建 物	廃止・解体
利 活 用 方 針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が進んでいることから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備 考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧小沢教員住宅	延床面積	132.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢小サ沢1番地9	建設年	1982年（昭和57年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が進んでいることから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	脇野沢庁舎管理課
-------	----------

1 施設の概要

施設名	旧滝山教員住宅	延床面積	104.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢滝山201番地	建設年	1966年（昭和41年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特徴	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が著しいことから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局総務課
-------	-------------

1 施設の概要

施設名	旧脇野沢教員住宅	延床面積	328.00 m ²
所在地	むつ市脇野沢渡向101番地9	建設年	1981年（昭和56年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	脇野沢地区 1,415人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	老朽化が進んでいることから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	産業雇用政策課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	大湊 J R 寄附建物	延床面積	31.46 m ²
所在地	むつ市大湊新町186番1号	建設年	1963年 (昭和38年)
複合施設名	—	耐用年数	
特記事項	東日本旅客鉄道(株)からの借受地	構造・階数	木造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	土石流 (警戒区域)
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が著しい。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	J R 東日本への転貸用地返還に向け、解体を行う。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、解体まで保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8	解体工事	1,102	市工事实績単価
合 計		1,102	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	0	0	
差引	0	0	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	教育委員会事務局生涯学習課
-------	---------------

1 施設の概要

施設名	旧大湊高校女子寮	延床面積	317.69 m ²
所在地	むつ市桜木町2番31号	建設年	1915年（大正4年）
複合施設名	—	耐用年数	24年
特記事項		構造・階数	石造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	むつ地区 44,723人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

・屋根毀損

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	水源池公園内にある重要文化財にも関連する施設であることから、有識者の意見を聞きながら維持管理を継続する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
収入額	0	0	
支出額	71	146	
差引	▲ 71	▲ 146	

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧青森銀行川内支店	延床面積	447.46 m ²
所在地	むつ市川内町川内316番地	建設年	1985年（昭和60年）
複合施設名	—	耐用年数	38年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・2階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	利活用推進施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

屋上排水溝に詰まりが見られる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市有財産利活用民間提案制度等による利活用を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	川内庁舎管理課
-------	---------

1 施設の概要

施設名	旧生活改善センター	延床面積	379.34 m ²
所在地	むつ市川内町中道104番地3	建設年	1974年（昭和49年）
複合施設名	—	耐用年数	22年
特記事項		構造・階数	木造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	廃止施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	—
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	川内地区 3,655人
	各種計画との関連性	—
	外部からの需要	—

3 点検・診断等による施設の状態

令和元年度9月まで民間企業に貸付を行っていた。現在のところ特に問題はない。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス 建築物	廃止済 再検討
利活用方針	存続	
利活用方針の考え方	市有財産利活用民間提案制度等による利活用を検討する。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	

作成日：令和3年3月31日

所 管 課	生産者支援課
-------	--------

1 施設の概要

施設名	大畑漁港多目的利用施設（旧フェリー埠頭）	延床面積	17.00 m ²
所在地	むつ市大畑町上野地内	建設年	1991年（平成3年）
複合施設名	—	耐用年数	31年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・1階

2 施設評価

一次評価	施設の特性	解体予定施設
二次評価	行政サービスの代替性	—
	社会的必要性への適合	—
	災害の危険性	津波浸水
	緊急避難場所の指定	—
	避難所の指定	—
	投票所の指定	—
	交通の利便性	—
	施設周辺の人口	大畑地区 6,451人
	各種計画との関連性	—
外部からの需要	—	

3 点検・診断等による施設の状態

全体的に経年劣化が進んでいる。

4 施設に関する基本的な方針

利活用の方向性	行政サービス	廃止済
	建物	廃止・解体
利活用方針	解体	
利活用方針の考え方	利活用が困難であり、経年劣化が進んでいることから、解体を進める。	
管理に関する実施方針	定期的な見回りを実施し、保安、危険防止に努める。	

5 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算費用(千円)	備考
R3			
R4			
R5			
R6			
R7			
R8			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
収 入 額	0	0	
支 出 額	0	0	
差 引	0	0	

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	備 考
利 用 者 数	-	-	